



*Clavinova*<sup>®</sup>

**CVP-50** 取扱説明書



**YAMAHA**

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ヤマハの豊かな音楽性と楽器づくりのノウハウ、そして先進のエレクトロニクス技術の結集により、クラビノーバは誕生しました。そのシャープで美しいフォルム、機能性、さらに操作性。クラビノーバは、音楽表現の幅をさらに広げる完成度の高い未来指向の鍵盤楽器です。

自然で弾き応えのあるAE鍵盤をはじめ、リアルな音色を実現したAWM音源、幅広いジャンルに対応する32種類のリズム、自分の演奏を録音できるパフォーマンスメモリー機能、リアルな響きが得られるリバーブ機能、ディスクオーケストラコレクションによる自動演奏およびレッスン機能、豊富なオプション端子等、これらの優れた特長を生かし、自由なスタイルで存分に使いこなしてください。

本書では、クラビノーバをいつまでも楽しくお使いいただけますよう、取り扱い方法を分かりやすく説明しています。ご使用前に、ご一読ください。

## この取扱説明書の見方

本書は、クラビノーバの豊富な機能、操作方法を理解しやすいように、少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になっています。従って、基本的には前の方から順にご覧ください。

また、次のような見方をされるのもアイデアです。

- 全てをご理解いただいた後は……  
“もくじ”のページを開き、目的に合った所をさがす。
- ボタン等のはたらきが分からなくなった時……  
“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを見る。

## もくじ

①ご使用の前に	ページ
1. ご注意	3
2. クラビノーバの組み立て方	3
②各部の名称とはたらき	5
③ステップ1(基本編)	
1. 好きな音色で弾こう	9
2. リバーブをかけてみよう	10
3. 音程を変えるには?	10
4. 他の楽器と音程を合わせるには?	11
5. リズムに合わせて弾こう	12
6. スプリット演奏をしよう	13
7. 和音を指1本で(ピアノABC)	14
・シングルフィンガーコード一覧表	16
・楽譜の読み方	18
④ステップ2(活用編 I)	
1. ピアノABCで楽々演奏	19
・フィンガードコード一覧表	21
・練習曲 I (ロコモーション)	25
・転回テクニックで楽々演奏	27
2. ソロスタイルでパフォーマンス(ソロスタイルプレイ)	27
3. 自分の演奏を録音(パフォーマンスメモリー)	28
・フロッピーディスクについて	28
・ディスクフォーマットの方法(フォーマット)	29
・録音してみよう(レコード)	29
・再生してみよう(プレイバック)	31
・ディスクコピーの方法(コピー)	32
・内容の消去(デリート)	33
4. 市販の録音済みディスクの再生(ディスクオーケストラ)	34
・再生してみよう	34
・ガイドランプにしたがってレッスン	34
・マイナスイオン機能でレッスン	35
・苦手なフレーズを繰り返しレッスン	35
5. パネル上の設定を記憶(レジストレーション)	36
・練習曲 II (オリビアを聴きながら)	37
⑤ステップ3(活用編 II)	
1. 打楽器を担当してしまおう	39
2. 他の機器と接続するには?	39
3. MIDI機能でステップアップ	40
・MIDIとは?	40
・クラビノーバのMIDI端子	40
・MIDIのできること	40
・MIDI関係の設定・機能	41
・MIDIデータフォーマット	44
・MIDIインプリメンテーションチャート	48
⑥資料	
1. オプション(別売品)のご紹介	49
2. おかしいな?と思ったら	50
3. 仕様	51
4. エラーメッセージ一覧表	52
5. 発音数一覧表	52
アフターサービスと保証	裏表紙

# 1 ご使用の前に

## 1.ご注意

### 設置場所



次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

### お取り扱い



落としたり、物をぶついたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

### 電源の処理



ご使用後はパワースイッチを切ってください。

### 外装のお手入れ



お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上に乗らないでください。

### 他の電気機器への影響



ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

### ディスクのお取り扱い



付属のフロッピーディスクは、自分の演奏を録音したり、すでに録音済の演奏を再生するためのものです。

非常にデリケートなしくみになっていますので、取り扱いには十分注意してください。

詳しくは28ページ「フロッピーディスクの取り扱い」を参照してください。

### 保証書の手続き



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。

### 保管

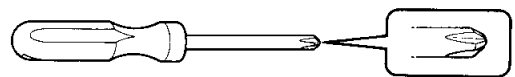


この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

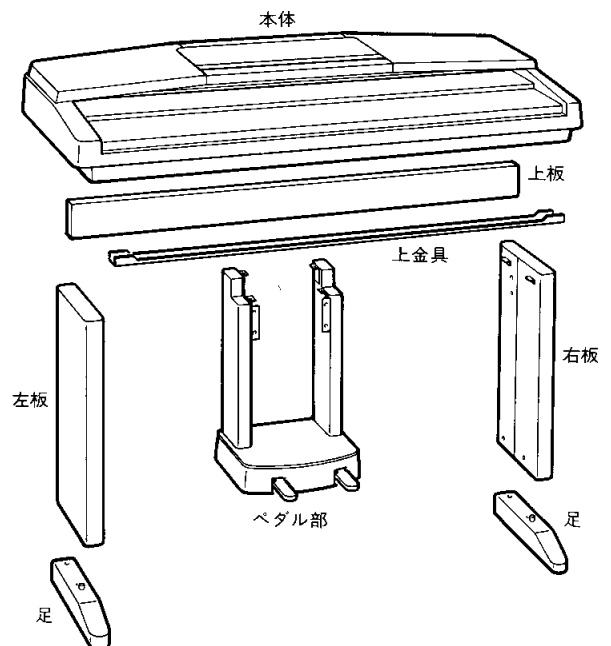
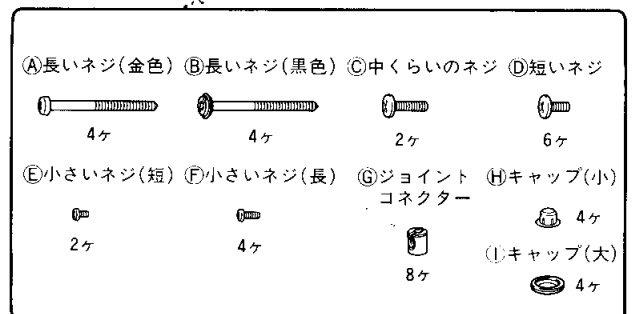
## 2.クラビノーバの組み立て方

- ・部品をまちがえたり、取り付けの向きを間違えないように注意しながら、手順どおり組み立ててください。
- ・解体する時は、組み立てと逆の手順で行ってください。
- ・組み立ては2人以上で行ってください。1人で無理に組み立てようとすると、傷をつけたり、製品に悪い影響を与えることがあります。また、毛布などの柔らかい布の上で組み立てられることをお勧めします。

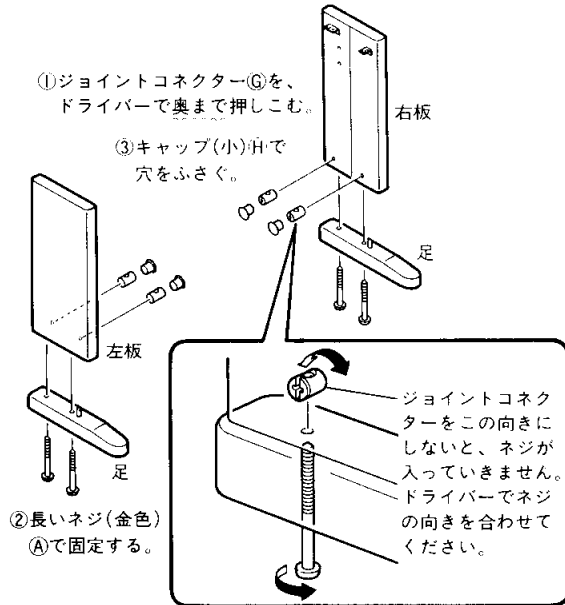
### 1.+ (プラス)のドライバーを用意します。



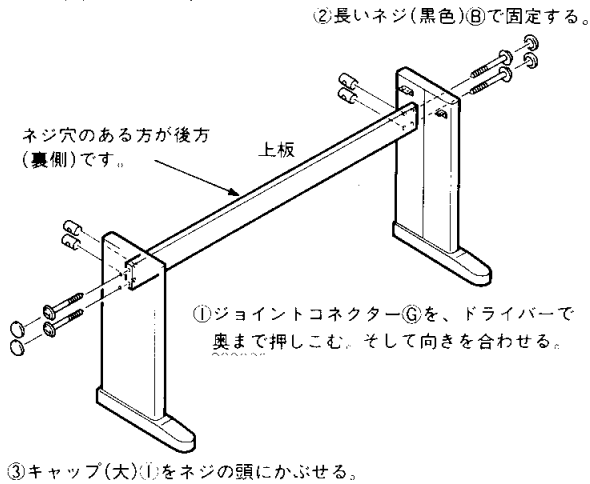
### 2.箱を開けて部品を取り出します。そして部品が全てそろっているか確かめてください。



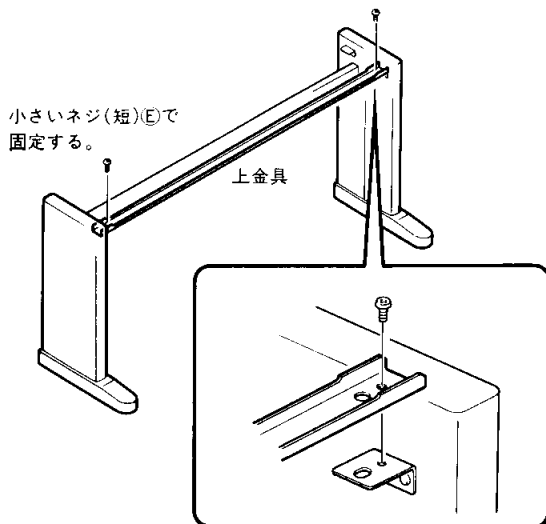
### 3. 右板と足、左板と足を固定します。



### 4. 上板を固定します。

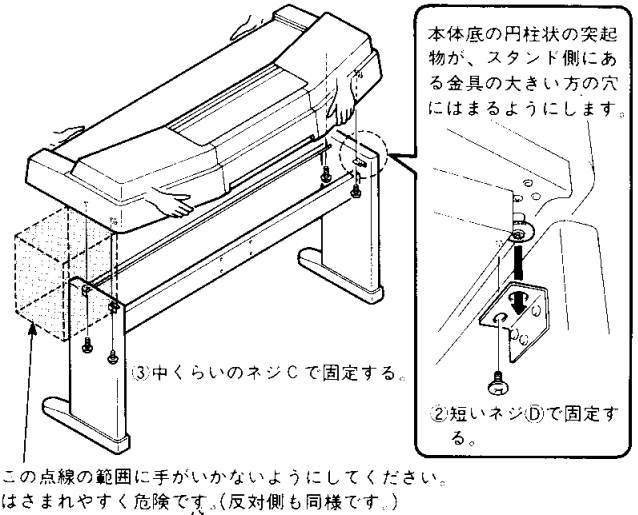


### 5. 上金具を固定します。

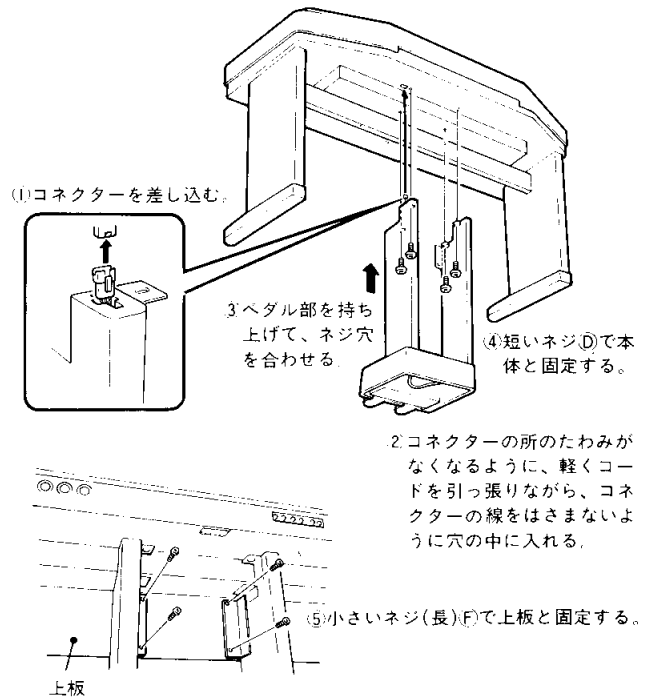


### 6. 本体を固定します。

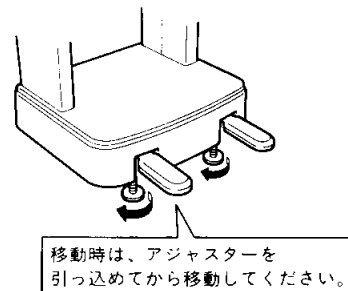
1手をはさまないように充分注意しながら、本体を載せる。



### 7. ペダル部を取り付けます。

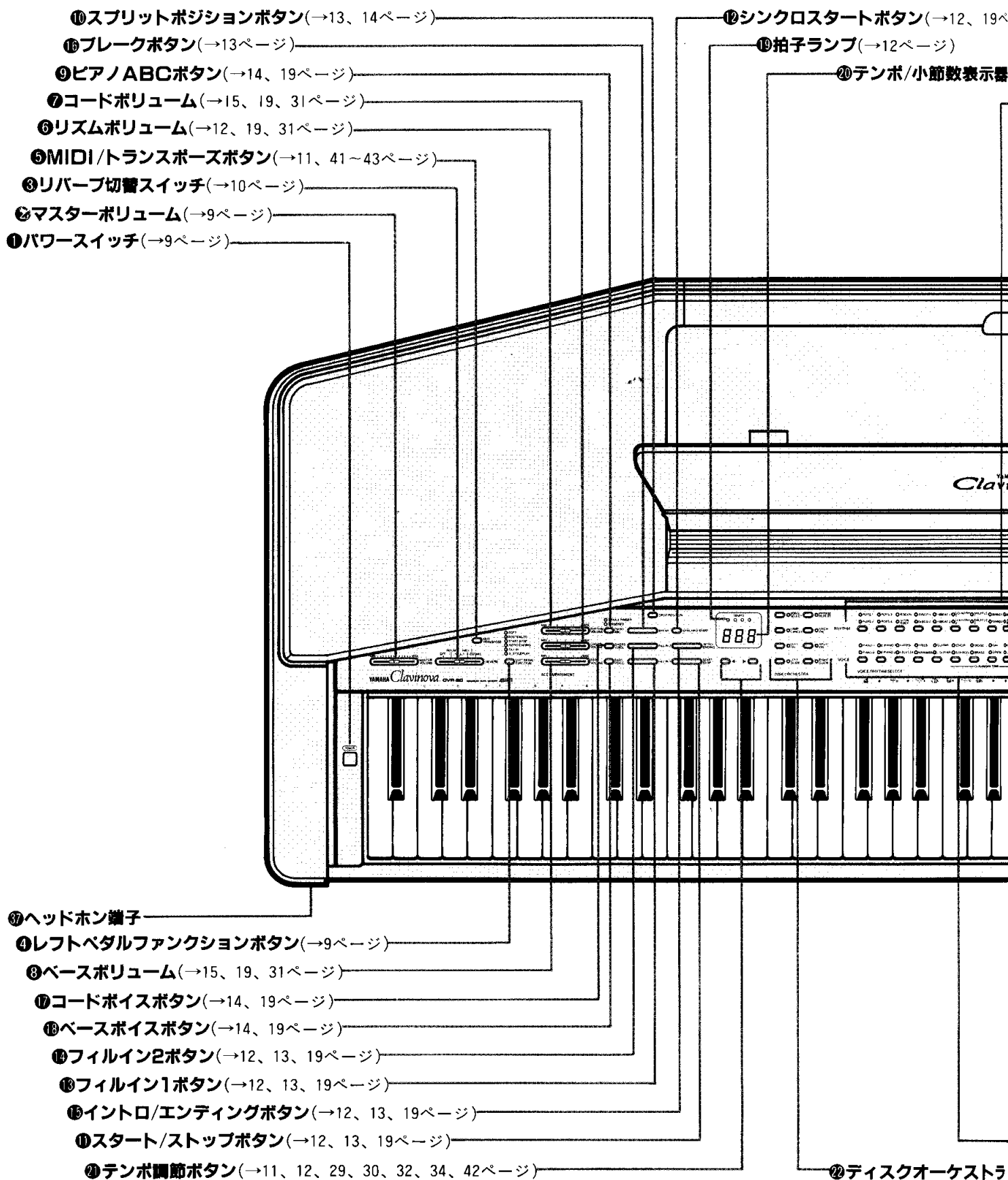


### 8. アジャスターを回して床にぴったり付け、ペダル部を安定させます。



# 2

## 各部の名称とはたらき



→マークのところにくわしく説明してあります。

ジ)

→11、12、29～35、42ページ)

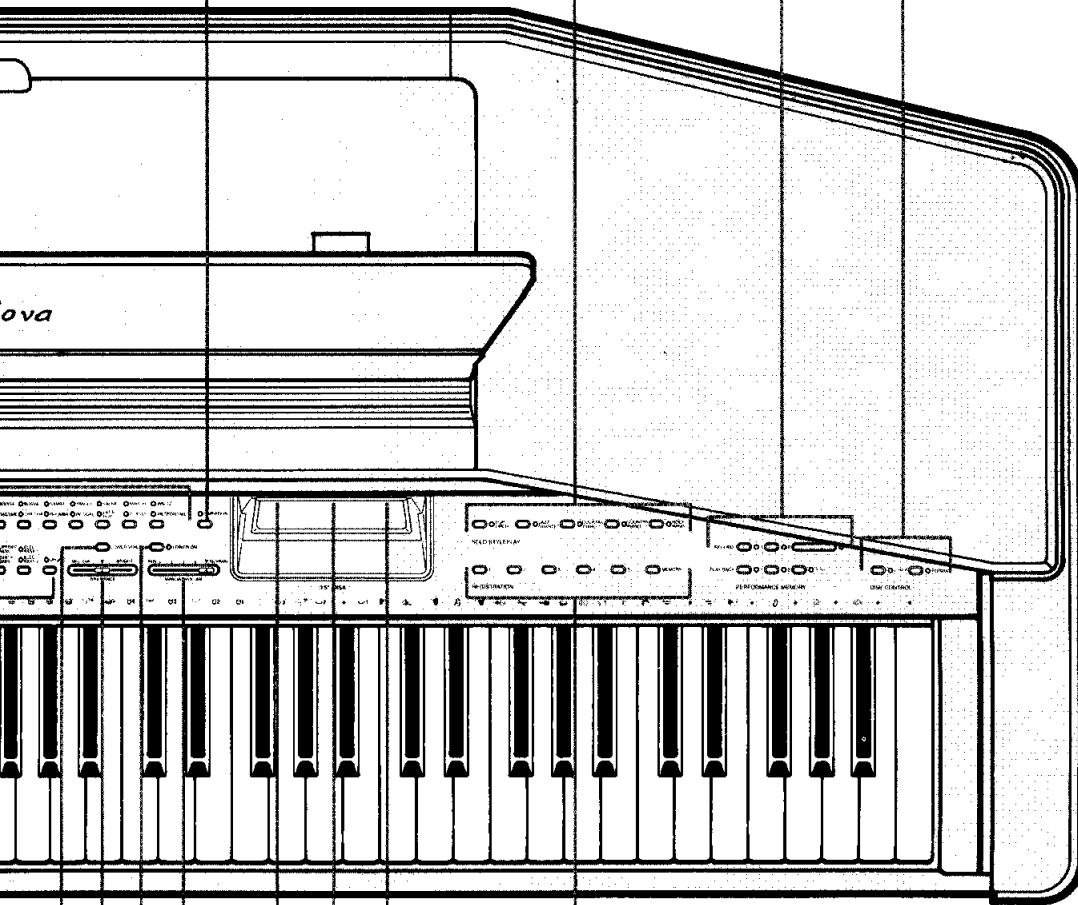
⑧リズムセレクトボタン(→12、13ページ)

⑨バリエーションボタン(→12ページ)

⑩ソロスタイルプレイボタン(→27ページ)

⑪パフォーマンスメモリーボタン(→30、31ページ)

⑫ディスクコントロールボタン  
(→29、32、33ページ)



⑬レジストレーションボタン(→36ページ)

⑭ディスク取り出しボタン(→29ページ)

⑮ディスク装着口(→28ページ)

⑯ユーズランプ(→28、29ページ)

⑰マニュアルボリューム(→9、14、31ページ)

⑱ローオンボタン(→13ページ)

⑲ブリリアンススイッチ(→9ページ)

⑳ローボイスボタン(→13ページ)

㉑ボイスセレクトボタン(→9、13～15、19、42ページ)

㉒タン(→34、35ページ)

### ① パワースイッチ

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。

### ② マスターボリューム

全体の音量を調節するレバーで、右の方にずらすほど音が大きくなります。

### ③ リバース切替スイッチ

リバースをかけることができます。リバースをかけると、音の響きが豊かになります。4種類の中から好みの響きを選ぶことができます。

### ④ レフトペダルファンクションボタン

左ペダルの働きを切り替えるボタンです。電源スイッチを入れた時はソフトペダルとして働くようになっていますが、好みに応じてこのボタンで変更できます。

### ⑤ MIDI/トランスポーズボタン

MIDI(ミディ)機能の設定をする時や、トランスポーズの設定(移調)をする時に使用します。

### ⑥ リズムボリューム

リズム音の音量を調節するレバーです。右にずらすほど音が大きくなります。リズムを鳴らす時やディスクオーケストラ機能を使う時のみ関係します。

### ⑦ コードボリューム

コード音の音量を調節するレバーです。右にずらすほど音が大きくなります。ピアノABC機能やディスクオーケストラ機能を使う時のみ関係します。

### ⑧ ベースボリューム

ベース音の音量を調節するレバーです。右にずらすほど音が大きくなります。ベースを鳴らす時のみ関係します。

### ⑨ ピアノABCボタン

リズム、コード、ベースによる自動伴奏をさせる時に使用するボタンです。ボタンを押してシングルフィンガーのランプを点灯させると指1本で、フィンガードのランプを点灯させると普通のコードの押さえ方で、自動伴奏させることが可能になります。

また、シングルフィンガーのランプを点灯させて、リズムをスタートさせずに指1本でコードを鳴らすこともできます。

※ABCはオートベースコードの略です。

### ⑩ スプリットポジションボタン

鍵盤を低音部と高音部に分けて使う時の、境界線を決めることができます。このボタンを押しながら、境界線(低音部側の最高音)としたい鍵盤を押さえて設定します。この境界線のことをスプリットポジションといいます。

ピアノABC機能やローオン機能など、低音部の音色が高音部と異なる機能を使う時のみ関係します。

### ⑪ スタート/ストップボタン

リズムやピアノABCをスタートまたは停止させる時に押します。また、パフォーマンスメモリーやディスクオーケストラを使う時にも使用します。

### ⑫ シンクロスタートボタン

鍵盤を押すのと同時に、リズムやピアノABCをスタートさせる時に押します。

### ⑬ フィルイン1ボタン

リズムやピアノABCにフィルイン1のパターンを入れる時に押します。

### ⑭ フィルイン2ボタン

リズムやピアノABCにフィルイン2のパターンを入れる時に押します。

### ⑮ イントロ/エンディングボタン

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンでリズムを停止させる時に押します。

### ⑯ ブレークボタン

リズムやピアノABCにブレークを入れる時に押します。ブレークさせると、その小節の間だけリズムやピアノABCが休止します。

### ⑰ コードボイスボタン

ピアノABC機能などでコード音を鳴らす場合、コード音の音色指定に使用します。このボタンを押しながら、希望する音色のボタンを押して指定します。

### ⑱ ベースボイスボタン

ピアノABC機能などでベース音を鳴らす場合、ベース音の音色指定に使用します。このボタンを押しながら、希望する音色のボタンを押して指定します。

### ⑲ 拍子ランブ

拍子を目で確認できます。1番左が1拍目で赤色点灯、2、3、4番目が2、3、4拍目で緑色点灯します。

### ⑳ テンポ/小節数表示器

リズム停止時とテンポ調節時にはリズムの速さ(テンポ)を表示し、リズムスタート後はリズムをスタートさせてからの小節数を表示します。また、パフォーマンスメモリーやディスクオーケストラの状態でソング番号やフレーズ番号を指定すると、それらの番号を表示します。その他、様々な設定の表示をします。

### ㉑ テンポ調節ボタン

リズムの速さ(テンポ)を調節できます。右側のボタンを押すと速くなり、左側のボタンを押すと遅くなります。また、パフォーマンスメモリーやディスクオーケストラなどの設定でも使用します。



## ⑳ ディスクオーケストラボタン

クラビノーバ用曲データソフト「ディスクオーケストラコレクション」に収められている曲を自動演奏させたり、それを使ってレッスンする時に使います。

## ㉑ リズムセレクトボタン

32種類の中からリズムを選ぶことができます。同列の上段のリズムから下段のリズムに切り替える場合、または同列の下段のリズムから上段のリズムに切り替える場合は、もう一度そのボタンを押してください。

## ㉒ バリエーションボタン

いま選ばれているリズムのパターンを変えることができます。1つのリズム名に2種類のリズムパターンがありますので、このボタンを押して、ランプが点灯している時と消灯している時のどちらかのパターンを選んでください。

## ㉓ ボイスセレクトボタン

23種類の中から音色を選ぶことができます。同列の上段の音色から下段の音色に切り替える場合、または同列の下段の音色から上段の音色に切り替える場合は、もう一度そのボタンを押してください。なお、ドラムスを選んだ場合には44種類の打楽器音を使って、自分でリズムパートを演奏することができます。(ドラムスにした時の各鍵盤への打楽器の割付が、鍵盤上部にイラストで示されています。)

## ㉔ ロワーオンボタン

低音部を高音部と異なった音色で鳴らしたい時にオンにします。オンにするとボタン右側のランプとスプリットポジションの鍵盤ガイドランプが点灯します。低音部と高音部の境(低音部の上限)は、スプリットポジションボタンを押しながら、境としたい鍵盤を押すことにより変更できます。

## ㉕ ロワーボイスボタン

低音部を高音部と異なった音色で鳴らす場合に、低音部の音色指定に使用します。このボタンを押しながら、希望する音色のボタンを押して指定します。

## ㉖ フリリアンスイッチ

手弾き音(リズム、コード、ベース音以外)の明るさ(音質)を切り替えることができます。3種類の中から好みの明るさを選択できます。

## ㉗ マニュアルボリューム

手弾き音(リズム、コード、ベース音以外)の音量を調節するレバーです。NORMAL(ノーマル)の位置で普通の音量になり、左にずらすほど音が小さくなります。

## ㉘ ユーズランプ

クラビノーバとディスクの間でデータがやりとりされている時に点灯するランプです。

## ㉙ ディスク装着口

フロッピーディスクを差し込むところです。

## ㉚ ディスク取り出しボタン

フロッピーディスクを取り出す時に押すボタンです。

## ㉛ パフォーマンスメモリーボタン

録音用のフロッピーディスクを使用して自分の演奏を録音(厳密に言えば記録)したり、後でそれを聴いたり、それに合わせて演奏する時に使用するボタンです。

“1”、“2”、“3-10”のように3つのボタンに割り付けられた10ヶのトラックがありますが、1つの曲の楽器編成(パート)を10トラックに分けて録音することができます。

たとえばレコード2ボタンを押すとトラック2に演奏を録音可能になり、プレイバック3-10ボタンを押すとトラック3-10に録音済みの演奏が再生可能になります。

## ㉜ ソロスタイルプレイボタン

リズムや音色の組み合わせが、演奏形態に合わせてあらかじめ5種類セットされています。希望するボタンを押してオン(点灯)状態にすることにより、そのスタイルでの演奏が可能になりますが、ソロスタイルプレイは、あれこれとパネル上の設定をしなくても即座に、目的とする演奏形態にする機能です。

## ㉝ レジストレーションボタン

音色や音量、リズムの種類、テンポ、ピアノABCの状態……など、パネル上の設定を5セットまで記憶させることができ、記憶させた番号のボタンを押すことにより、いつでもその状態を呼び出すことができます。

## ㉞ ディスクコントロールボタン

パフォーマンスメモリー機能で使うフロッピーディスクのフォーマットや、録音した曲のコピーをする時などに使用します。

## ㉟ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラビノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

# 3 ステップ1 (基本編)

## 1.好きな音色で弾こう

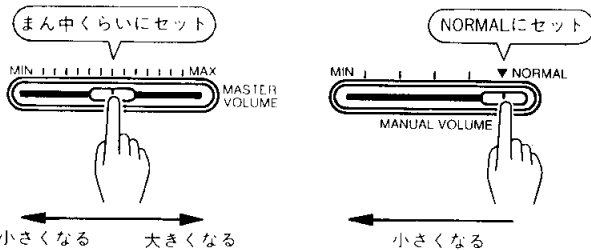
- ①電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。
- ②パワースイッチをオンにします。



オンにすると、リズムセレクトボタン、ボイスセレクトボタン、レフトペダルファンクションのソフトのランプが点灯すると共に、テンボが表示されます。

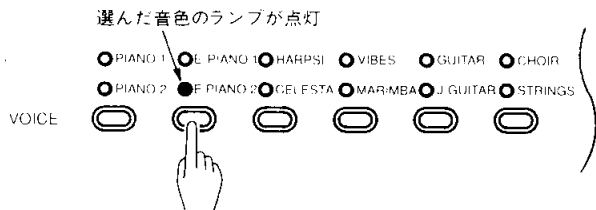
- ★パワースイッチをオンにすると、音色はピアノ1、リズムはポップス1になります。
- ★パワースイッチをオンにした後約3秒経過してから、音を出せます。
- ★パワースイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

- ③マスターボリュームとマニュアルボリュームで音量を調整します。



- ★鍵盤を押して音を出しながら調整してください。
- ★最小(MIN)にしても音は出ます。音を完全にしぼりたい時は、ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込んでください。

- ④音色を選んでください。



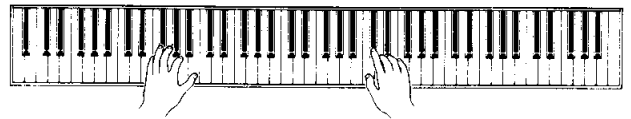
(つまり、この場合はエレクトリックピアノ2が選ばれたことになります。)

- ★23種類の中から音色を選ぶことができます。希望する音色のボタンを押してください。なお、同列の上段の音色から下段の音色に切り替える場合、または同列の下段の音色から上段の音色に切り替える場合は、もう1度そのボタンを押してください。

- ★クラビノーバトーンとパネル面に示されている8音色は、減衰(だんだん音が小さくなる)の長い音色です。また、クラビノーバトーンは別売のエクプレッションペダルEP-1を接続することにより、音が減衰しないで持続するようになります。

- ★音色を2つ選んで、いっしょに鳴らすことはできません。
- ★ドラムスを選ぶ場合は、39ページの“打楽器を担当してしまおう”を参照してください。

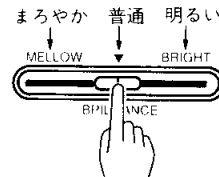
- ⑤弾いてみましょう。



- ★ピアノと同じように、弾く強さによって音の大小(強弱)を表現できます。
- ★いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。
- ★同時発音数は16音(16音ポリフォニック)です。

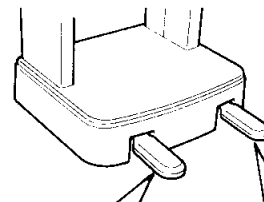
- ⑥ブリリアンスを調節してみましょう。

音の明るさ(音質)を3種類の中から選択できます。希望する音の明るさのところに切り替えてください。



- ★ピアノ2の音色は、ブライツ側にするとシンセ風ピアノの音になります。

- ⑦ペダルを使ってみましょう。



**レフトペダル**  
このペダルの働きは自由に選択できます。パワースイッチをオンにしてから設定を変えていなければ、ソフトペダルとして働くようになります。

**ダンパーペダル**  
このペダルを踏むと、ドラムスを除く全ての音色に余韻がつきます。(ダンパー効果)

### レフトペダルの機能の切り替え方法

レフトペダルファンクションボタンを押して、希望する機能のランプを点灯させます。

- SOFT
- SOSTENUTO
- START/STOP
- INTRO/ENDING
- FILL IN
- S. STYLEPLAY

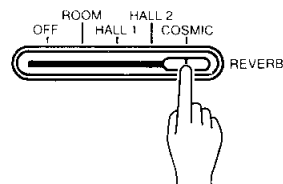
ボタンを押すごとに、順に切り替わります。



- ・ソフト：ペダルを踏むと、音の響きがやわらかくなります。
- ・ソステヌート：ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます。
- ・スタート/ストップ：リズムが止まっている時にペダルを踏むとリズムがスタートし、もう1度踏むと止まります。
- ・イントロ/エンディング：リズムが止まっている時にペダルを踏むとリズムがイントロのパターンからスタートし、もう1度踏むとエンディングのパターンの後止まります。
- ・フィルイン：リズムが止まっている時にどちらかのフィルインボタンを押しながらペダルを踏むことによって、フィルイン1と2の選択ができます。  
リズムが鳴っている時に踏むと選択したフィルインのパターンが入ります。
- ・ソロスタイルブレイ：ソロスタイルブレイのオン/オフボタンがオンされている時のみ、この機能を選択できます。ペダルを踏んでいる間だけ、高音部の鍵盤の音が厚みのある音になります。

## 2.リバーブをかけてみよう

リバーブをかけることができます。リバーブをかけると、音の響きが豊かになります。リバーブ切替スイッチを、希望する響きのところに切り替えてください。



★切り替えによって次のように変わります。

- ・オフ：リバーブはかかりません。
- ・ルーム：響きやすい部屋で弾いた時のような音になります。
- ・ホール1：小さめのコンサートホールで弾いた時のような音になります。
- ・ホール2：大きめのコンサートホールで弾いた時のような音になります。
- ・コズミック：こだまのような響きが得られます。

## 3.音程を変えるには？

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

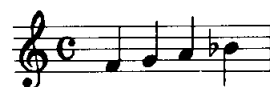
音程を変える時にはここに示すトランスポーズという機能を使って、希望する量だけずらしてください。

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと



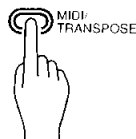
のように弾いたものが



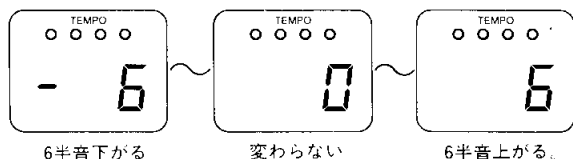
のように鳴ります。

## 移調量の設定方法

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



②テンポ調節ボタンで移調量を指定します。テンポ/小節数表示器を見ながら設定できます。

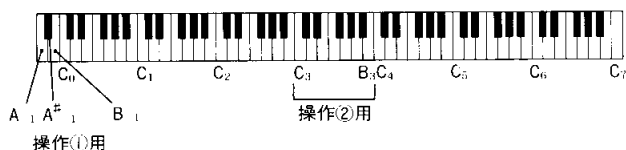


- ★たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、5半音高くすればよいわけですから、値を+5(表示は5)にします。
- ★パワースイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。また、◀ボタンと▶ボタンを同時に押せば0に戻ります。
- ★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。
- ★トランスポーズの結果により発音域(A<sub>-1</sub>~C<sub>7</sub>)以外となった鍵盤を弾いた時は、高音発音域外は1オクターブ低く発音され、低音発音域外は1オクターブ高く発音されます。

## 4.他の楽器と音程を合わせるには？

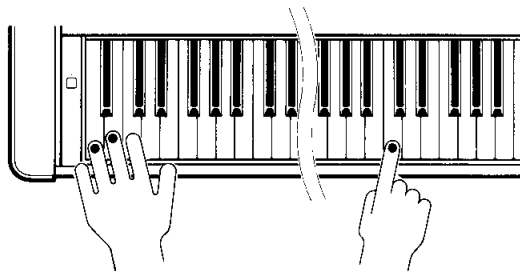
合奏の時などに、他の楽器と音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせることができます。

### 音程の合わせ方



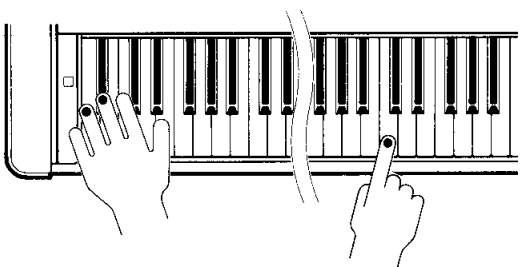
### ◆音程を上げる時

- ①A<sub>1</sub>とB<sub>1</sub>の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を上げて、合わせてください。

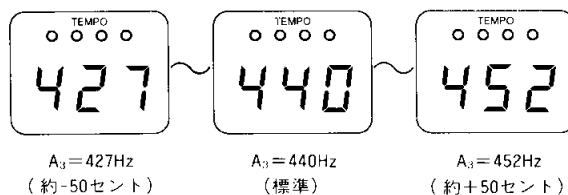


### ◆音程を下げる時

- ①A<sub>1</sub>とA<sub>1</sub>#の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を下げて、合わせてください。



- ★パワースイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A<sub>3</sub>=440Hz)
- ★元の高さ(A<sub>3</sub>=440Hz)に戻す時はパワースイッチをオンしなおすか、またはA<sub>1</sub>、A<sub>1</sub>#、B<sub>1</sub>の3鍵盤を同時に押しながら、C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押してください。
- ★±50セントの範囲、約3セントステップで設定できます。(参考：100セント=半音)  
なお、テンポ/小節数表示器には周波数で表示されます。

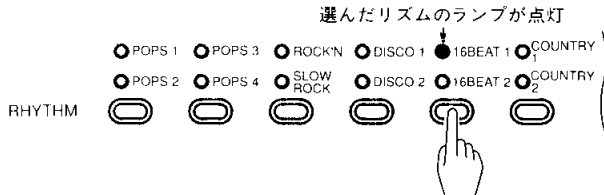


操作後約3秒経過すると、この表示からテンポ表示に切り替わります。

- ★ピアノABC機能(14、19ページ参照)やローオン機能(13ページ参照)を使っている場合は、音程の調節はできません。

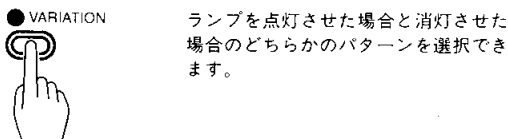
# 5.リズムに合わせて弾こう

## ①リズムを選びます。



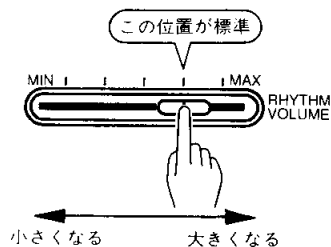
(つまり、この場合は16ビート1が選ばれたことになります。)  
 ★32種類の中からリズムを選ぶことができます。希望するリズムのボタンを押してください。なお、同列の上段のリズムから下段のリズムに切り替える場合、または同列の下段のリズムから上段のリズムに切り替える場合は、もう1度そのボタンを押してください。  
 ★リズムを2つ選んで、いっしょに鳴らすことはできません。

## ②リズムのパターンを変えることができます。



★メトロノームを選んだ場合は、バリエーションボタンのランプが消灯している時が4拍子、点灯している時は3拍子になります。

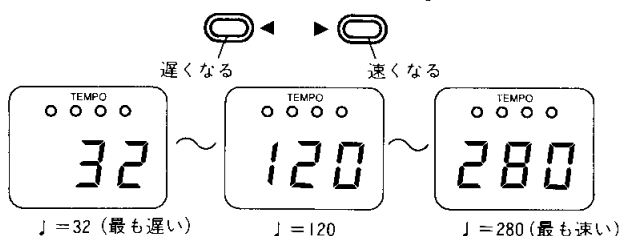
## ③リズムボリュームを調節します。



★リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあると、リズムの音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、リズムボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。

## ④リズムの速さを指定します。

テンポ/小節数表示器で1分間の拍数を見ながら設定できますが、曲の速さが楽譜に書かれていない場合など、テンポがあらかじめ判らない時は、⑤の操作の後、実際に音を聴きながら設定してください。

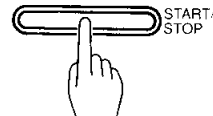


リズムをスタートさせた後は、拍子ランプの点灯が左から順に、1拍ごとに移動します。

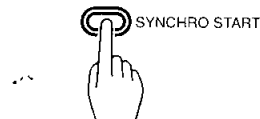
★パワースイッチをオンにした時は、いつも♪ = 120に戻っています。また、◀ボタンと▶ボタンを同時に押すと、選ばれているリズムの標準テンポに戻ります。

## ⑤リズムをスタートさせます。スタート方法には4種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

- ・すぐにスタートさせる場合……スタート/ストップボタンを押す。

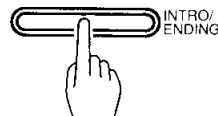


- ・演奏の開始と共にスタートさせる場合……シンクロスタートボタンを押す。



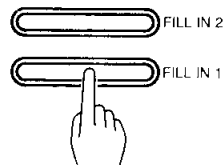
シンクロスタート待ちの時、拍子ランプの左端(赤)が4分音符のタイミングで点滅して、リズムの速さを示します。ピアノABC機能(19ページ参照)やローオン機能を使っている場合は、低音部の鍵盤(スプリットポジションより左側の鍵盤)を押さなければスタートしません。

- ・イントロのパターンからスタートさせる場合……イントロ/エンディングボタンを押す。



イントロパターンは2小節です。

- ・フィルインのパターンからスタートさせる場合……フィルイン1または2のボタンを押してテンポ/小節数表示器の数字右下のランプ(まん中がフィルイン1、右がフィルイン2)を点灯させた後、スタートまたはシンクロスタートにより、リズムをスタートさせる。



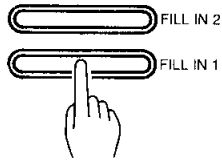
フィルインスタートのパターンは1小節です。

★レフトペダルファンクション(9ページ参照)の設定をスタート/ストップにすれば、レフトペダルを踏むことによりリズムをスタートできます。

★レフトペダルファンクションの設定をイントロ/エンディングにすれば、レフトペダルを踏むことにより、リズムをイントロのパターンからスタートできます。

★リズムを鳴らしても、演奏音の同時発音数は16音です。

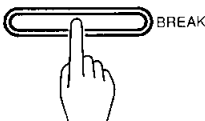
⑥フィルインを使ってみましょう。



フィルインボタンを押すと、その小節の終りまで変則的なリズムに変わります。

- ★フィルインは、最長で1小節です(押すタイミングで長さが異なります)。また、押し続けるとフィルインのパターンが繰り返されます。
- ★フィルイン中にもう一度フィルインボタンを押すと、フィルインが解除されます。
- ★レフトペダルファンクションの設定をフィルインにすれば、レフトペダルを踏むことによりフィルインを入れることができます。

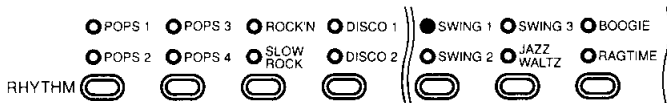
⑦ブレークを使ってみましょう。



ブレークボタンを押すと、その小節の終りまでリズムが止まり、自動的に再びスタートします。

- ★ブレークは最長で1小節です(押すタイミングで長さが異なります)。また、押し続けるとリズムが止まったままになります。
- ★ブレーク中にもう一度ブレークボタンを押すと、ブレークが解除されます。

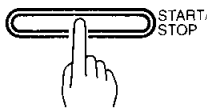
⑧演奏中、別のリズムに切り替えることもできます。



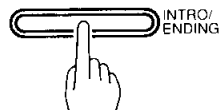
★リズムを切り替えても、切り替え前のリズムのテンポが維持されます。

⑨リズムを停止させます。停止方法には3種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

- ・すぐに停止させる場合……スタート/ストップボタンを押す。



- ・エンディングのパターンで停止させる場合……イントロ/エンディングボタンを押す。



エンディングパターンは2小節です。小節の前半でボタンを押した時はその小節からエンディングが入り、後半で押した時は次の小節から入ります。

- ・シンクロスタート待ちの状態にして停止させる場合……シンクロスタートボタンを押す。



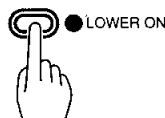
★レフトペダルファンクションの設定をスタート/ストップにすれば、レフトペダルを踏むことによりリズムを停止できます。

★レフトペダルファンクションの設定をイントロ/エンディングにすれば、レフトペダルを踏むことにより、リズムをエンディングのパターンで停止できます。

## 6. スプリット演奏をしよう

低音部を弾いた時と高音部を弾いた時に出る音の音色を、異なったものにして演奏できます。音色は自由に指定できます。

①ローオンボタンを押します。

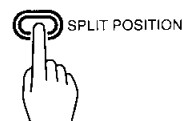


ランプが点灯して、スプリット演奏が可能になります。また、現在のスプリットポジションの鍵盤ガイドランプが点灯します。

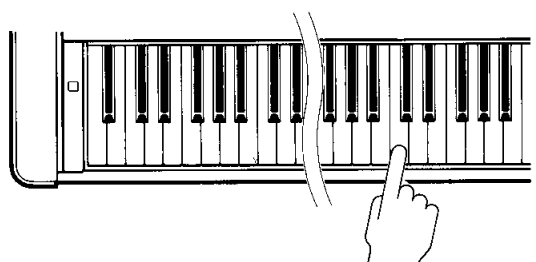
★パワースイッチをオンにした時は、スプリットポジションはF#<sub>2</sub>に設定されます。

②スプリットポジションを変更できます。

スプリットポジションボタンを押しながら、

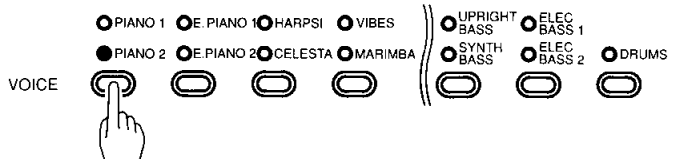


低音部と高音部の境にしたい鍵盤を押して指定します。境にした鍵盤は低音部側に含まれます。



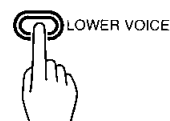
指定した鍵盤のガイドランプへ点灯が移ります。

③高音部の音色を指定します。

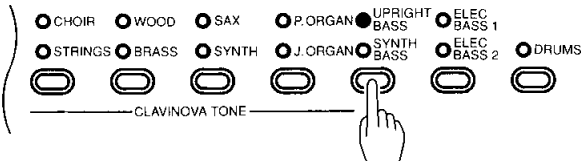


④低音部の音色を指定します。

ローボイスボタンを押しながら、



ボイスセレクトボタンを押して指定します。

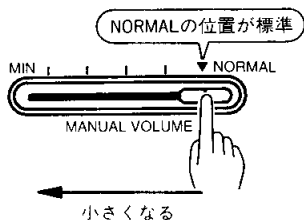


(この操作の最中だけ、低音部に指定した音色のランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

★低音部の音色にドラムスを指定することはできません(ボタンを押しても反応しません)。

★低音部の音色にベースの音色以外を指定した場合、その音色は1オクターブ高く発音されます。

⑤手弾き音(低音部と高音部の両方)の音量を、マニュアルボリュームで調節します。



★マニュアルボリュームを最小(MIN)の位置にしても、手弾き音はでます。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、マニュアルボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。

★ローの機能は、ピアノABC機能と同時に使うことができます。ただし、シングルフィンガーの状態にしても低音部(ロー)の音色は、押鍵した音のみ発音され、和音では発音されません。

★ローの機能とソロスタイルプレイの機能を同時に使うことはできません。

★ローONの同時発音数は、低音部と高音部合わせて16音になります。

★パワースイッチをオンにした時は、高音部の音色はピアノ1、低音部の音色はストリングスになります。

★低音部側には、次の機能は働きません。

- ・ダンパー
- ・ソフト
- ・ソステヌート
- ・ブリリアンス

## 7.和音を指1本で (ピアノABC)

ピアノABCのシングルフィンガー機能を使うと、コードを押さなくても、簡単に和音を鳴らすことができます。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2,3鍵押さえるだけでOKです。和音は低音部の鍵盤を使って鳴らします。

①ピアノABCボタンを押してシングルフィンガーのランプを点灯させます。同時にスプリットポジションの鍵盤ガイドランプが点灯します。

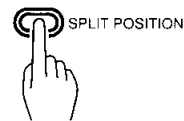
● SINGLE FINGER — ボタンを押すことに順に切り替わり、シングルフィンガーのランプを点灯させることにより、簡単に和音を出せるようになります。



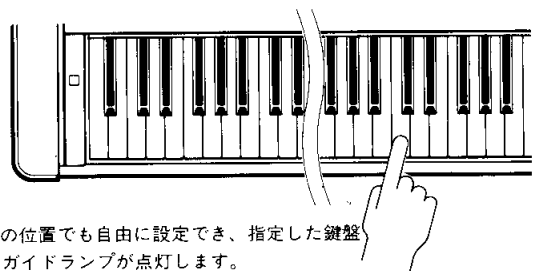
★パワースイッチをオンにした時は、スプリットポジションはF#<sub>2</sub>に設定されます。

②スプリットポジションを変更できます。

スプリットポジションボタンを押しながら、

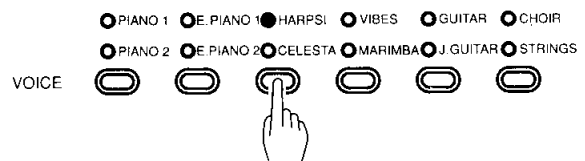


低音部(左手和音)と高音部(右手メロディー)の境にしたい鍵盤を押すことにより変更できます。境にした鍵盤は低音部側に含まれます。



どの位置でも自由に設定でき、指定した鍵盤のガイドランプが点灯します。

③高音部の音色を指定します。

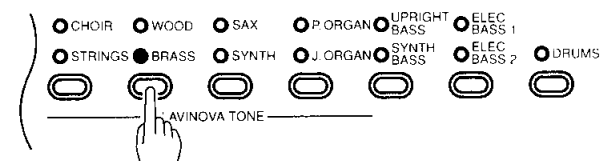


④低音部を弾いた時に発音される和音の音色を指定します。

コードボイスボタンを押しながら、



ボイスセレクトボタンを押して指定します。



(この操作の最中だけ、指定した和音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

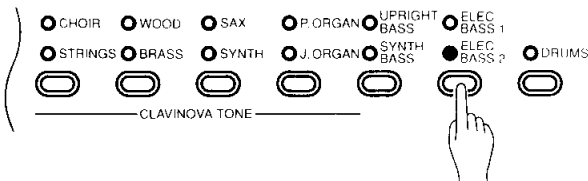
★和音の音色にドラムスを指定することはできません(ボタンを押しても反応しません)。

⑤低音部を弾いた時に発音されるベース音の音色を指定します。

ベースボイスボタンを押しながら、



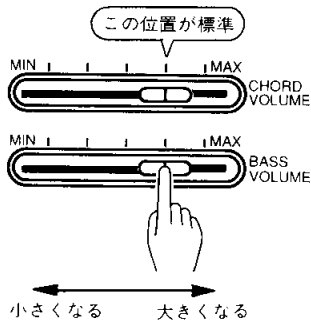
ボイスセレクトボタンを押して指定します。



(この操作の最中だけ、指定したベース音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります)

★ベース音の音色にドラムスを指定することはできません(ボタンを押しても反応しません)。

⑥和音の音量をコードボリュームで、ベース音の音量をベースボリュームで調節します。



★コードボリュームが最小(MIN)の位置にあると、コード音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、コードボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。ベース音についても同様です。

★リズムを切り替えると④⑤で指定した音色は解除されて、そのリズムに対応する音色になります。

★ピアノABCの状態にすると、低音部(和音+ベース音)の同時発音数が8音、高音部の発音数は8音になります。

鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCmの場合なら、



のように押します。

セブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC7の場合なら、



のように押します。

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCm7の場合なら、



のように押します。

★コードを変える時、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★上記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

- ・Maj7(メジャー セブンス)
  - ・6th(シックス)
  - ・dim(ディミニッシュ)
  - ・sus4(サスフォー)
  - ・aug(オーギュメント)
- } →メジャーコード
- ・m6(マイナー シックス) →マイナーコード
- ・7sus4(セブンス サスフォー)
  - ・7-5(セブンスフラット ファイブ)
- } →セブンスコード
- ・m7 5(マイナー セブンス フラット ファイブ) →マイナー セブンスコード



# ● シングルフィンガーコード一覧表

検出できるシングルフィンガーコードの一覧表です。  
これら以外は、前ページで示したように置き換えて押してください。

## メジャーコード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C <sup>#</sup> /D <sup>b</sup>	
D	
D <sup>#</sup> /E <sup>b</sup>	
E	
F	
F <sup>#</sup> /G <sup>b</sup>	
G	
G <sup>#</sup> /A <sup>b</sup>	
A	
A <sup>#</sup> /B <sup>b</sup>	
B	

## マイナーコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C <sup>#</sup> m/D <sup>b</sup> m	
Dm	
D <sup>#</sup> m/E <sup>b</sup> m	
Em	
Fm	
F <sup>#</sup> m/G <sup>b</sup> m	
Gm	
G <sup>#</sup> m/A <sup>b</sup> m	
Am	
A <sup>#</sup> m/B <sup>b</sup> m	
Bm	

### セブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C <sub>7</sub>	
C <sup>♯</sup> <sub>7</sub> /D <sup>b</sup> <sub>7</sub>	
D <sub>7</sub>	
D <sup>♯</sup> <sub>7</sub> /E <sup>b</sup> <sub>7</sub>	
E <sub>7</sub>	
F <sub>7</sub>	
F <sup>♯</sup> <sub>7</sub> /G <sup>b</sup> <sub>7</sub>	
G <sub>7</sub>	
G <sup>♯</sup> <sub>7</sub> /A <sup>b</sup> <sub>7</sub>	
A <sub>7</sub>	
A <sup>♯</sup> <sub>7</sub> /B <sup>b</sup> <sub>7</sub>	
B <sub>7</sub>	

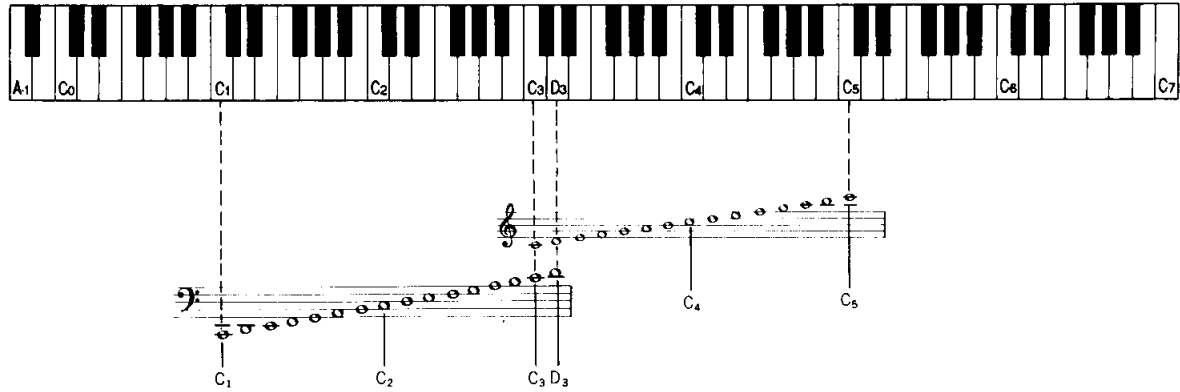
### マイナーセブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm <sub>7</sub>	
C <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> /D <sup>b</sup> m <sub>7</sub>	
Dm <sub>7</sub>	
D <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> /E <sup>b</sup> m <sub>7</sub>	
Em <sub>7</sub>	
Fm <sub>7</sub>	
F <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> /G <sup>b</sup> m <sub>7</sub>	
Gm <sub>7</sub>	
G <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> /A <sup>b</sup> m <sub>7</sub>	
Am <sub>7</sub>	
A <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> /B <sup>b</sup> m <sub>7</sub>	
Bm <sub>7</sub>	

# ● 楽譜の読み方

## ■ 鍵盤と五線譜の関係



## ■ 記号の意味

### 音符

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
全音符	4つ分のばす
付点2分音符	3つ分のばす
2分音符	2つ分のばす
4分音符	
8分音符	♪ (♪♪ = ♩)
16分音符	♪♪ (♪♪♪♪ = ♩)
3連音符	♪ (♪♪♪ = ♩)

(♪♪♪ は ♩ を3等分)

### 休符

休符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
全休符	♪♪♪♪
付点2分休符	♪♪♪
2分休符	♪♪
4分休符	♪
8分休符	♪ (♪♪ = ♩)
16分休符	♪♪ (♪♪♪♪ = ♩)

## ■ 音符と休符の長さ

記号と読み方	意味	記号と読み方	意味
# シャープ	半音上げる	: :   リピート	くりかえし。
b フラット	半音下げる	1. 2. :   1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと2へ。
♮ ナチュラル	もとの音にもどす	D.C. ダカーボ	最初からくりかえし。
♪ タイ	音を続ける	Fine D.C.	
~~~~~ スラー	なめらかに	D.S. ダルセーニョ	記号♯からくりかえし。
☉ フェルマータ	その音をのばす	Fine D.S.	
Tacet タセット	伴奏を休む	♯ Coda	くりかえしのあと♯から
Fine フィーネ	おわり	コーダ	♯Codaへ。

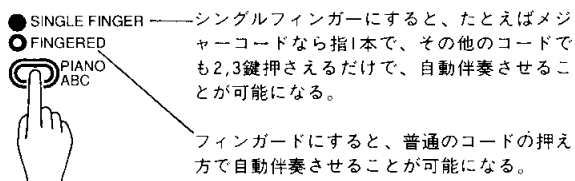
# 4 ステップ2(活用編 I)

## 1. ピアノABCで楽々演奏

ピアノABC機能を使って、自動伴奏させてみましょう。自動伴奏は、打楽器によるリズムパート、コードパート、ベースパートから成り立ちます。曲の流れにそって、左手でコードを指定していけばOKです。

### ①ピアノABCの状態にします。

好みに合わせて、シングルフィンガーか、フィンガードの状態にしてください。



### ②リズムを選びます。

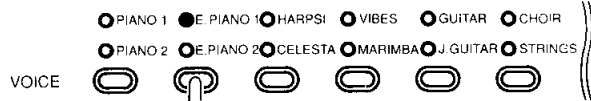
★メトロノームの場合は、自動伴奏させることはできません。

### ③スプリットポジションを指定します。

### ④リズムの速さを指定します。

### ⑤各パートの音色を指定します。

・高音部(右手の演奏音)の音色を指定する場合……



希望する音色のボタンを押します。

・コード音(和音)の音色を変更する場合……

コードボイスボタンを押しながら、



ボイスセレクトボタンを押して指定します。

(この操作の最中だけ、指定した和音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

・ベース音の音色を変更する場合……

ベースボイスボタンを押しながら、



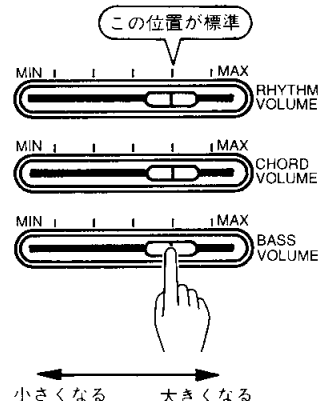
ボイスセレクトボタンを押して指定します。

(この操作の最中だけ、指定したベース音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

※コード音およびベース音の音色は、リズムを選択した時点で自動設定されます。従いまして、ここで変更しなければ自動設定された音色になります。

### ⑥音量調節

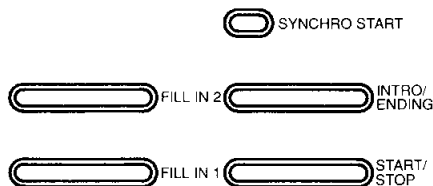
リズム音、コード音、ベース音、それぞれの音量を調節します。



★リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあると、リズム音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、リズムボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。コード音、ベース音についても同様です。

### ⑦スタート方法の選択

スタート方法を選択します。スタート、シンクロスタート、イントロスタート、フィルインスタートの4つの方法があります。(12ページ参照)



### ⑧演奏の開始

自動伴奏は、低音部の鍵盤(スプリットポジションより左側の鍵盤)を押した時点でスタートします。

★低音部の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音部の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★シングルフィンガーの場合は、次の4種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(15ページ参照)

- ・メジャー
- ・マイナー
- ・セブンス
- ・マイナー セブンス

★フィンガードの場合は、次の13種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(21~24ページの“フィンガードコード一覧表”を参照)

- ・メジャー
- ・マイナー
- ・メジャーセブンス
- ・シックス
- ・マイナーセブンス
- ・マイナーセブンスフラットファイブ
- ・セブンス
- ・セブンスサスフォー
- ・オーギュメント
- ・ディミニッシュ
- ・マイナーシックス
- ・セブンスフラットファイブ
- ・サスフォー

★シックス、サスフォー、マイナーシックス、セブンスフラットファイブコードは、基本形で押さえた場合のみ検出されます。

★オーギュメントおよびディミニッシュコードは、押さえた鍵盤の最低音が根音となります。

★13種類のコード以外や押鍵ミスの場合は、正しい和音で出なくなります。

★演奏中にブレークボタンを押すと、その小節の終わりまで自動伴奏が止まり、自動的に再びスタートします。

★演奏中にフィルインボタンを押すと、その小節の終わりまで自動伴奏が変化します。

















































リズムによっては、コードパート、ベースパートがブレークになるフィルインのパターンもあります。

#### ⑨演奏の終了

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。また、シンクロスタートボタンを押せば、シンクロスタート待ちの状態ですら停止させることもできます。

# ●フィンガードコード一覧表

ここに示すものは全て基本形です。

メジャー コード	マイナー コード	セブンス コード	マイナー セブンス コード
C 	Cm 	C <sub>7</sub> 	Cm <sub>7</sub> 
C <sup>♯</sup> (D <sup>b</sup> ) 	C <sup>♯</sup> m (D <sup>b</sup> m) 	C <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (D <sup>b</sup> <sub>7</sub> ) 	C <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> (D <sup>b</sup> m <sub>7</sub> ) 
D 	Dm 	D <sub>7</sub> 	Dm <sub>7</sub> 
D <sup>♯</sup> (E <sup>b</sup> ) 	D <sup>♯</sup> m (E <sup>b</sup> m) 	D <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (E <sup>b</sup> <sub>7</sub> ) 	D <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> (E <sup>b</sup> m <sub>7</sub> ) 
E 	Em 	E <sub>7</sub> 	Em <sub>7</sub> 
F 	Fm 	F <sub>7</sub> 	Fm <sub>7</sub> 
F <sup>♯</sup> (G <sup>b</sup> ) 	F <sup>♯</sup> m (G <sup>b</sup> m) 	F <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (G <sup>b</sup> <sub>7</sub> ) 	F <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> (G <sup>b</sup> m <sub>7</sub> ) 
G 	Gm 	G <sub>7</sub> 	Gm <sub>7</sub> 
G <sup>♯</sup> (A <sup>b</sup> ) 	G <sup>♯</sup> m (A <sup>b</sup> m) 	G <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (A <sup>b</sup> <sub>7</sub> ) 	G <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> (A <sup>b</sup> m <sub>7</sub> ) 
A 	Am 	A <sub>7</sub> 	Am <sub>7</sub> 
A <sup>♯</sup> (B <sup>b</sup> ) 	A <sup>♯</sup> m (B <sup>b</sup> m) 	A <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (B <sup>b</sup> <sub>7</sub> ) 	A <sup>♯</sup> m <sub>7</sub> (B <sup>b</sup> m <sub>7</sub> ) 
B 	Bm 	B <sub>7</sub> 	Bm <sub>7</sub> 

## メジャー セブンス コード

## オーギュメント コード

## ディミニッシュ コード

## シックス コード







































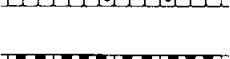


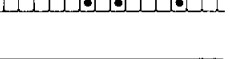
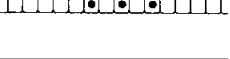


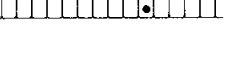


CM <sub>7</sub>		Caug		Cdim		C <sub>6</sub>	
C <sup>#</sup> M <sub>7</sub> (D <sup>b</sup> M <sub>7</sub> )		C <sup>#</sup> aug (D <sup>b</sup> aug)		C <sup>#</sup> dim (D <sup>b</sup> dim)		C <sup>#</sup> <sub>6</sub> (D <sup>b</sup> <sub>6</sub> )	
DM <sub>7</sub>		Daug		Ddim		D <sub>6</sub>	
D <sup>#</sup> M <sub>7</sub> (E <sup>b</sup> M <sub>7</sub> )		D <sup>#</sup> aug (E <sup>b</sup> aug)		D <sup>#</sup> dim (E <sup>b</sup> dim)		D <sup>#</sup> <sub>6</sub> (E <sup>b</sup> <sub>6</sub> )	
EM <sub>7</sub>		Eaug		Edim		E <sub>6</sub>	
FM <sub>7</sub>		Faug		Fdim		F <sub>6</sub>	
F <sup>#</sup> M <sub>7</sub> (G <sup>b</sup> M <sub>7</sub> )		F <sup>#</sup> aug (G <sup>b</sup> aug)		F <sup>#</sup> dim (G <sup>b</sup> dim)		F <sup>#</sup> <sub>6</sub> (G <sup>b</sup> <sub>6</sub> )	
GM <sub>7</sub>		Gaug		Gdim		G <sub>6</sub>	
G <sup>#</sup> M <sub>7</sub> (A <sup>b</sup> M <sub>7</sub> )		G <sup>#</sup> aug (A <sup>b</sup> aug)		G <sup>#</sup> dim (A <sup>b</sup> dim)		G <sup>#</sup> <sub>6</sub> (A <sup>b</sup> <sub>6</sub> )	
AM <sub>7</sub>		Aaug		Adim		A <sub>6</sub>	
A <sup>#</sup> M <sub>7</sub> (B <sup>b</sup> M <sub>7</sub> )		A <sup>#</sup> aug (B <sup>b</sup> aug)		A <sup>#</sup> dim (B <sup>b</sup> dim)		A <sup>#</sup> <sub>6</sub> (B <sup>b</sup> <sub>6</sub> )	
BM <sub>7</sub>		Baug		Bdim		B <sub>6</sub>	

サスフォー コード

マイナー セブンス フラット  
ファイブ コード

マイナー シックス コード

セブンス サスフォー  
コード

Csus <sub>4</sub>		Cm <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Cm <sub>6</sub>		C <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	
C <sup>#</sup> SUS <sub>4</sub> (D <sup>♭</sup> SUS <sub>4</sub> )		C <sup>#</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> (D <sup>♭</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> )		C <sup>#</sup> m <sub>6</sub> (D <sup>♭</sup> m <sub>6</sub> )		C <sup>#</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> (D <sup>♭</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> )	
Dsus <sub>4</sub>		Dm <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Dm <sub>6</sub>		D <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	
D <sup>#</sup> SUS <sub>4</sub> (E <sup>♭</sup> SUS <sub>4</sub> )		D <sup>#</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> (E <sup>♭</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> )		D <sup>#</sup> m <sub>6</sub> (E <sup>♭</sup> m <sub>6</sub> )		D <sup>#</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> (E <sup>♭</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> )	
Esus <sub>4</sub>		Em <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Em <sub>6</sub>		E <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	
Fsus <sub>4</sub>		Fm <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Fm <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	
F <sup>#</sup> SUS <sub>4</sub> (G <sup>♭</sup> SUS <sub>4</sub> )		F <sup>#</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> (G <sup>♭</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> )		F <sup>#</sup> m <sub>6</sub> (G <sup>♭</sup> m <sub>6</sub> )		F <sup>#</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> (G <sup>♭</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> )	
Gsus <sub>4</sub>		Gm <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Gm <sub>6</sub>		G <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	
G <sup>#</sup> SUS <sub>4</sub> (A <sup>♭</sup> SUS <sub>4</sub> )		G <sup>#</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> (A <sup>♭</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> )		G <sup>#</sup> m <sub>6</sub> (A <sup>♭</sup> m <sub>6</sub> )		G <sup>#</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> (A <sup>♭</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> )	
Asus <sub>4</sub>		Am <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Am <sub>6</sub>		A <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	
A <sup>#</sup> SUS <sub>4</sub> (B <sup>♭</sup> SUS <sub>4</sub> )		A <sup>#</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> (B <sup>♭</sup> m <sub>7</sub> <sup>-5</sup> )		A <sup>#</sup> m <sub>6</sub> (B <sup>♭</sup> m <sub>6</sub> )		A <sup>#</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> (B <sup>♭</sup> <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub> )	
Bsus <sub>4</sub>		Bm <sub>7</sub> <sup>-5</sup>		Bm <sub>6</sub>		B <sub>7</sub> SUS <sub>4</sub>	



セブンス フラットファイブ  
コード



# ● 練習曲 I

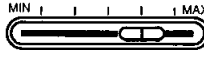


## THE LOCO-MOTION

作曲 : Carole King & Gerry Goffin

ロコモーション

ピアノABC(自動伴奏機能)を使って、懐かしのアメリカンポップスの名曲にチャレンジ。

セッティング

リズム	POPS2 VARIATION	リズム ボリューム	
テンポ	120	コード ボリューム	
ピアノABC	FINGERED	ベース ボリューム	
スプリット ポジション	F# <sub>2</sub>		

© 1962 by Screen Gems EMI Music Inc.  
Rights for Japan controlled by TOSHIBA EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

軽快に  
♩ = 120

INTRO

メロディー

フィンガード  
コード



The musical score is presented in a grand staff format, with the right hand playing the melody and the left hand playing chords. The key signature is one flat (B-flat major/D minor), and the time signature is common time (C). The tempo is marked as 120 quarter notes per minute. The score begins with an 'INTRO' section. The melody is characterized by a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes. Chords are indicated above the staff, including F, Dm, Bb, Gm, and C7. The left hand provides a steady accompaniment with chords corresponding to the melody's harmonic structure.

F B<sup>b</sup>

FILL IN 1

F C7

2. B<sup>b</sup> F

B<sup>b</sup> F

B<sup>b</sup> F

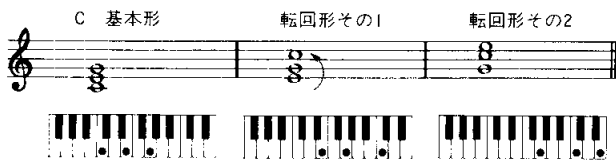
ENDING

## ● 転回テクニックで楽々演奏

21ページの“フィンガードコード一覧表”で見ても解るように、コード名の頭の大文字がほとんど最低音になって載っています。このように大文字、つまり専門用語で“ルート”とか“根音”と呼ばれる音を最も低い音にしたカタチをコードの“基本形”といいます。

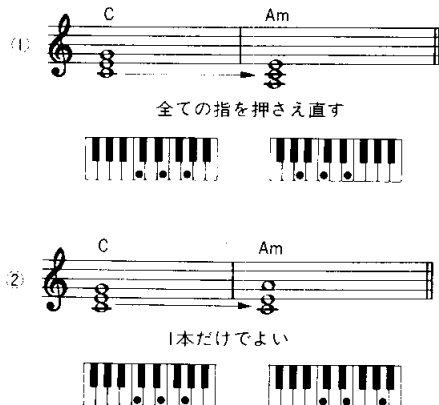
これに対し、音の積み重ねの順番を少し変えたものを“転回形”といいます。たとえば、Cメジャーコードを例にとると基本形は“ドミソ”ですが、〈例1〉のように、それを転回して“ミソド”と弾いても、“ソドミ”と弾いても、Cメジャーコードには変わりありません。

〈例1〉



このような転回ワザを身につけると、響きを楽しめるのと同時に、ピアノABC機能を使う時、演奏が楽になります。たとえば〈例2〉を見てください。①の方はCコードもAmコードも基本形ですが、CからAmに移る際“ドミソ”から“ラドミ”と変えなければいけないため、全ての指を押さえ直さなければなりません。次に②の方を見てください。こちらはAmコードに転回ワザを加えたものです。ソを押さええている指1本をとなりに動かすだけで、簡単にコードを変えることができます。

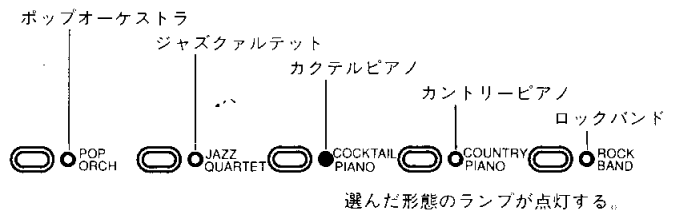
〈例2〉



## 2. ソロスタイルでパフォーマンス (ソロスタイルプレイ)

5つの演奏形態の中から好みの形態を選び、瞬時にセットアップして演奏できる機能です。選択によりリズムの種類や各パートの音色が自動的にセットアップされると共に、ピアノABCの状態になります。なお、この機能を使った場合は右手の演奏が単音に制限されますが、逆にその音色は厚みのある音色になり、また自動的にハーモニーが加わります。さあ、ソロスタイルでパフォーマンスしましょう。

### ① 演奏形態を選びます。



選んだ形態のランプが点灯する。

### ② 必要に応じて……

次の各変更が可能です。

- ・リズムを変更する。
- ・リズムを鳴らすのをやめる。
- ・スタート方法を変更する。
- ・コード音、ベース音、右手の演奏音の音色を変更する。
- ・左手をシングルフィンガーで弾くか、フィンガードで弾くかを指定する。……など

### ③ 演奏の開始

リズムを鳴らすのをやめていなければ、低音部の鍵盤を押すと自動伴奏がスタートします。

### ④ 演奏の終了

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。

★レフトペダルファンクションの設定をソロスタイルプレイにすると、レフトペダルを踏んでいる間のみ、高音部の演奏音が厚みのある音になります。

★リズム、コード、ベース、全体の音量を、それぞれのボリュームで調節できます。

★ソステヌートをかけることはできません。

★ピアノABCをOFFにすることはできません。

★ローワーの機能と同時に使うことはできません。

★パフォーマンスメモリーに録音した内容を、同時に再生することはできません。

★演奏の際、鍵盤から指を離さないで動かすと、正確に鳴らないことがあります。

鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

# 3.自分の演奏を録音

(パフォーマンスメモリー)

録音用のフロッピーディスクを装着することにより、自分の演奏を録音できます。録音できるのはリズムをスタートさせてから停止させるまでの間です。

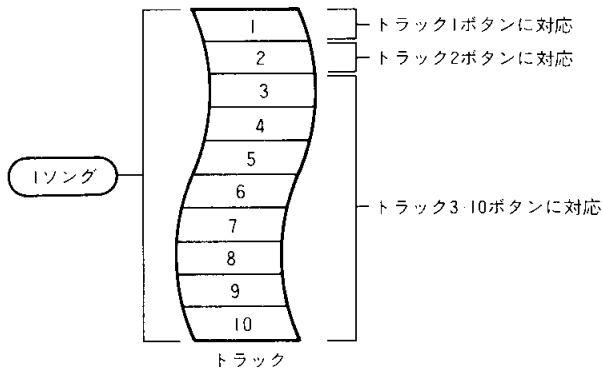
“1”、“2”、“3 10”に分かれた10ヶのトラックがありますが、再生時には“3 10”トラックは同時に再生されます。

1曲をいくつかの演奏パートに分けて、トラック1にはギター音のパートを、2にはブラスのパートを……、というように多重録音していくことができます。つまり、10トラック全てを使って1曲を仕上げるのが可能です。

## ソングとは?

“1”、“2”、“3 10”の合計10トラックに録音した内容を1まとめにして“ソング”と呼びます。

フロッピーディスクには、“ソング”単位で録音していきます。最大で60ソングまで録音できますが、1曲の演奏時間が長い場合や、1曲の中でたくさんの機能を使った場合などは60曲より少なくなってしまう場合があります。



## フロッピーディスクについて

パフォーマンスメモリー機能で演奏情報を録音するには、パソコンなどで使われているフロッピーディスクを使用します。

付属のディスクの内、一枚はまだ演奏情報が何も入っていない生ディスクです。この生ディスクに自分の演奏を録音していきます。また、市販のフロッピーディスクを使えば、自分の演奏の録音をどんどん増やしていけます。これに対して、もう一枚のすでに録音済みのディスクを再生するのがディスクオーケストラです。

大切な演奏の録音をこわしてしまったり、誤って消してしまわないために、次のことを守って正しく取り扱ってください。

### ◆クラビノーバで使用使用するディスク

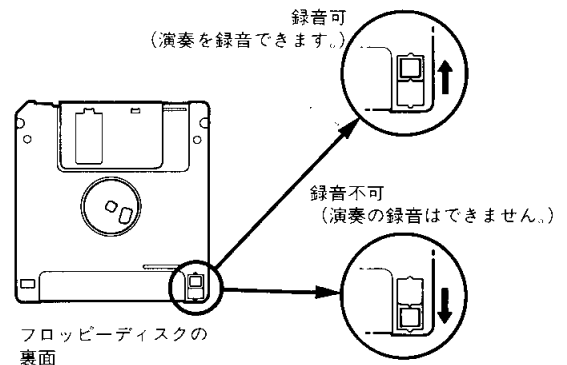
3.5インチ 2DDマイクロフロッピーディスクを使用してください。

### ◆フロッピーディスクの取り扱い

- ・テレビやスピーカーなど、磁気の強い物に近づけないでください。
- ・物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- ・直射日光の当たる場所や、高温または低温の場所に置かないでください。
- ・水などをこぼして濡らさないでください。
- ・内部のディスク表面には手を触れないでください。
- ・使用後はケースに入れて保管してください。

### ◆録音した演奏の保護について

フロッピーディスクには、再録音できないようにするツメがあります。大切な演奏はこのツメを録音不可の状態にしておきます。そうすることにより、再生はできますが誤って再録音できないようになります。



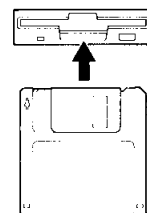
### ◆絶対にしてはいけないこと

ディスク装着口の左下にあるユーズランプが点灯している時は、絶対に電源を切ったり、ディスクを取り出さないでください。クラビノーバの故障の原因となるばかりでなく、ディスクに録音されている演奏情報をこわしてしまいます。

※ユーズランプが点灯している最中は、クラビノーバとフロッピーディスクの間でデータがやりとりされています。

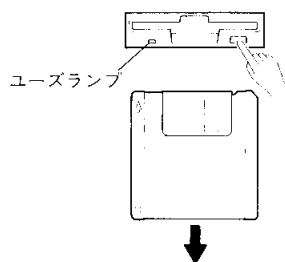
### ◆フロッピーディスクの入れかた

ディスク装着口へ、矢印の方向に表面を上にして、ていねいに差し込んでください。



### ◆フロッピーディスクの取り出しかた

ユーズランプが消えていることを確認した上で、ディスク取り出しボタンを押します。

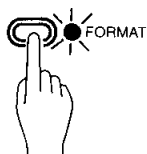


### ディスクフォーマットの方法 (フォーマット)

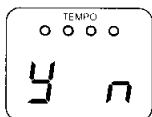
付属のフロッピーディスクや市販のフロッピーディスクはそのままでは使えません。

フォーマット (初期化) といって、データの整理棚を作る操作をして初めて演奏を録音できるようになります。ただし、すでに使用中で演奏情報の入っているフロッピーディスクをフォーマットしてしまわないよう十分注意してください。(フォーマットを実行すると、フロッピーディスクの内容は全て消えてしまいます。)

- ①フロッピーディスクをディスク装着口に差し込みます。
- ②フォーマットボタンを押します。

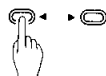
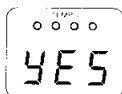


ランプが点滅を始め、テンポ/小節数表示器に Y : YES、n : NO が表示されます。



中止したい時はスタート/ストップボタンを押します。

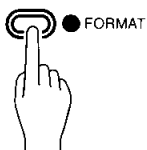
- ③テンポ調節ボタンの◀ボタンを押します。



中止したい時は▶ボタンを押します。

- ④もう一度フォーマットボタンを押して、フォーマットを実行します。

しばらく時間がかかりますが、“F80”の表示がテンポ表示に戻るまでお待ちください。



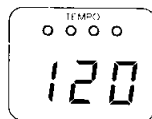
ランプが点灯に変わり、テンポ/小節数表示器はカウント表示になり、数値が1ずつ小さくなっていきます。



- ⑤フォーマットが終了すると……



ランプが消灯し、テンポ/小節数表示器はテンポ表示に戻ります。



例: ♩ = 120

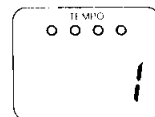
### 録音してみよう (レコード)

フロッピーディスクのフォーマットが終わったら、自分の演奏を録音してみましょう。

- ①フォーマット済みのフロッピーディスクを、ディスク装着口に差し込みます。
- ②ソングセレクトボタンを押します。



ランプが点灯し、テンポ/小節数表示器はソング番号表示になります。テンポ調節ボタンも、ソング番号を選択するボタンになります。



- ③テンポ調節ボタンでソング番号を選びます。



◀ボタンを押すごとに、数字が1ずつ小さくなります。

▶ボタンを押すごとに、数字が1ずつ大きくなります。

- ④ソングセレクトボタンをもう一度押してランプを消灯させます。

- ⑤リズムの選択

録音する曲に合ったリズムを選んでください。

- ⑥音色の指定

- ピアノABC機能を使う場合……  
コード音、ベース音、手弾き音 (高音部) の各音色を指定できます。
- ローオン機能を使う場合……  
手弾き音 (低音部、高音部) の各音色を指定できます。
- どちらの機能も使わない場合……  
手弾き音の音色を指定できます。

- ⑦音量の調節

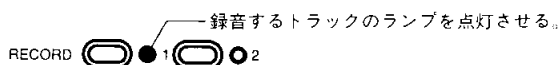
- ピアノABC機能を使う場合……  
リズム音、コード音、ベース音、手弾き音 (高音部) の各音量調整ができます。
- ローオン機能を使う場合……  
リズム音、手弾き音 (低音部、高音部) の各音量調整ができます。
- どちらの機能も使わない場合……  
手弾き音、リズム音の各音量調整ができます。

★マスターボリューム調整による全体の音量については、記憶されません。演奏しやすい音量にすればOKです。

- ⑧トラックの選択

◁1,2トラックの場合▷

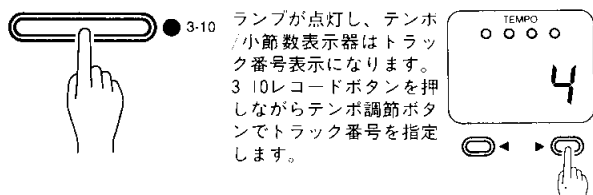
録音するトラックのレコードボタンを押します。すると、4分音符のタイミングでカウント音が鳴り始めます。この状態でシンクロスタート待ちの状態です。



### 〈3-10トラックの場合〉

3-10トラックの選択は、レコード3-10ボタンを押しながらかテンポ調節ボタンで録音したいトラック番号を指定してください。

レコード3-10ボタンを押している間だけ、テンポ/小節数表示器はトラック番号表示になります。トラック番号を指定した後、レコード3-10ボタンを離すと4分音符のタイミングでカウント音が鳴り始めます。この状態でシンクロスタート待ちの状態です。



★レコードボタン(3つのボタンのいずれか)を押している間だけ、録音済みのトラックを確認することができます。右端から10ヶの鍵盤ガイドランプが、それぞれトラック1~10に対応します。

たとえば、D<sup>#</sup><sub>6</sub>(E<sup>b</sup><sub>6</sub>)のガイドランプのみ点灯したら、トラック1のみ録音済みということになります。

トラック1に対応～トラック10に対応



★カウントの音量はリズムボリュームに連動します。

従って、リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあるとカウント音は鳴りません。

### レジストレーションを使って録音する時は

レジストレーション(36ページ参照)に記憶してある設定を使って録音する場合には、そのデータをクラピノーバからフロッピーディスクへ送る必要がありますので、スプリットポジションボタンを押しながら、録音するトラックのレコードボタンを押してください。

5ヶのレジストレーションのデータがすべてフロッピーディスクに記録されます。この操作は、トラックごとに行う必要はなく、1ソングに1回行えばOKです。

※レジストレーションの記憶内容のうち、ソロスタイルプレイの演奏形態とレフトペダルファンクションの選択については記録されません。

### ⑨テンポ調節

カウント音を聴きながら調節できます。

### ⑩必要に応じて……

- ・ピアノABC機能を使う場合には、シングルフィンガーコード/フィンガードの指定をします。
- ・ローワーオン機能を使う場合には、ローワーオンボタンをオンにします。
- ・スプリットポジションを指定します。
- ・ブリリアンススイッチを好みの音の明るさの位置にしておきます。

- ・レジストレーションに記憶してある設定を使う場合には、その番号のレジストレーションボタンを押して呼び出しておきます。(36ページ参照)
- ・シンクロスタートをやめて、スタートやイントロスタートに変更することもできます。変更する場合、それぞれのボタンを押しますが、ボタンを押した時点から録音が始まります。

### ⑪演奏の開始

シンクロスタートの場合には、演奏を開始した時点から録音が始まります。

### ⑫必要に応じて……

演奏の途中でリズムやテンポ、音色などを変更したり、フィルインを入れたり、ピアノABC機能やローワーオン機能をオン/オフしたり、別のレジストレーションを呼び出したりすることができます。これらの操作も実際に録音されます。

### ⑬演奏の終了……

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。テンポ/小節数表示器の“rEc”表示がテンポ表示に戻った時点で録音終了です。

録音が終了すると、録音していたトラックのランプが消灯します。

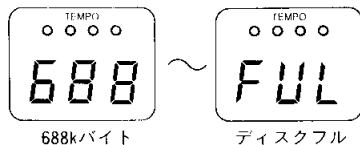


★ピアノABC機能やローワーオン機能は、レコードボタンを押した時点で解除されます。これらの機能を使って録音する場合には、レコードボタンを押してから指定するようにしてください。

★記録内容は次のとおりです。なお、録音中に設定を変えた場合、実際にそのタイミングで記録されます。

- ・鍵盤情報
- ・音色選択(ピアノABCオンの場合はコード音、ベース音の音色、ローワーオンの場合は低音部の音色選択も含む)
- ・リズム選択、テンポ
- ・リズムバリエーションの選択
- ・ブリリアンススイッチの設定
- ・スタート、イントロ、フィルイン、エンディング、ストップ
- ・ピアノABCのオン/オフ
- ・シングルフィンガー/フィンガードの切り替え
- ・スプリットポジション
- ・ローワーオン/オフ
- ・ペダル操作(ダンパー、レフト)
- ・レフトペダルファンクションの切り替え
- ・マニュアルボリューム、リズムボリューム(ピアノABCオンの場合は、コードボリュームとベースボリュームも含む)
- ・リバーブ切替スイッチの効果選択
- ・エクスプレッションペダルの操作
- ・レジストレーションボタンの番号

★メモリー容量は、バイト数にして約688kバイトです。レコードボタンを押した時、残りバイト数が688kバイトから表示され、残容量なしでディスクフルの表示になります。



★演奏した内容は、録音を終了した時点で自動的にフロッピーディスクに保存されます。

誤って、ディスクを入れないで録音してしまった場合、その内容は次の操作をした時点で消えてしまいます。

- ・パワースイッチをオフにした時
  - ・ディスクを入れてソングセレクトボタンを押した時
- 保存したい場合は、フロッピーディスクへコピーの操作を行ってください。(ディスクを入れて32ページの④の操作から行ってください。)

★トラックごとに別のリズムで録音することはできません。10トラックで1曲が基本となります。

★録音済みのソング番号に再録音する場合は、デリート操作をしてそのソング番号の内容を消去してから録音してください。(33ページ参照)

★録音済みのトラックに再録音すると、録音が開始された時点で前の内容が消えます。

### 多重録音

多重録音は、もともとレコード制作の世界から生まれたテクニックです。まず最初にリズムを決めてトラック1に“基本にするパート”を録音。次にそれを再生しそれに合わせてトラック2に別のパートを録音。さらにトラック3~10にも……。これで完了です。最後に全てを一斉に再生できますから、あたかも大勢で一度に演奏しているように聞こえます。

- ①レコード1ボタンをオン、そして録音。
- ②プレイバック1ボタンをオン、レコード2ボタンをオン、そしてトラック2に録音。
- ③プレイバック1および2ボタンをオン、レコード3-10ボタンを押した上でトラック3へ録音できる状態にし、トラック3に録音。
- ④プレイバック1,2,3-10, ボタンをオン、そしてレコード3-10ボタンを押した上でトラック4へ録音できる状態にし、トラック4に録音。
- ⑤以上のような要領で録音していきます。

★以下の内容の初期設定は全トラック共通です。初期設定を変えたい場合は、レコードボタン(3つのボタンのいずれか)を押してからそれぞれの設定を変えてください。設定が終わったらもう一度レコードボタンを押してランプを消灯させます。

- ・テンポ
- ・リバーブ切替スイッチの効果選択
- ・ロー、ベース、コードの各音色

## 再生してみよう (プレイバック)

録音した自分の演奏を再生してみましょう。

- ①再生するフロッピーディスクをディスク装着口に差し込みます。
- ②ソングセレクトボタンを押した上で、テンポ調節ボタンで再生したい曲の番号を選びます。  
選択したソングのトラックが録音済みであれば、そのトラックのプレイバックボタンのランプが点灯します。



★レジストレーションを使って録音されている曲を再生する場合は、フロッピーディスクに保存されているデータをクラビノーバ側へ送る必要がありますので、スプリットポジションボタンを押しながら、プレイバックボタンを押してください。

この時、クラビノーバ側のレジストレーションは、フロッピーディスクのものに書き替わりますので注意してください。

### ③トラックの選択

トラックごとに再生させる場合は、再生したくないトラックのプレイバックボタンを押してランプを消灯させます。

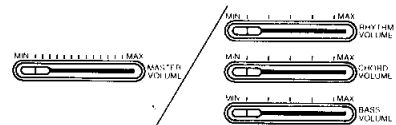
★3から10までのトラックは同時に再生されます。トラックごとに再生させることはできません。

### ④再生の開始

スタート/ストップボタンを押すと、すぐに再生が始まります。また、シンクロスタートボタンを使って押鍵と同時に再生させることもできます。

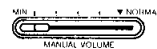
### ⑤音量の調節

各音量を調節できます。



### ⑥必要に応じて……

再生音に合わせて、音色を指定し他のパートを演奏することも可能です。手弾き音の音量は、マニュアルボリュームで調節してください。



### ⑦再生の終了

最後まで再生されると自動的に停止しますが、途中でスタート/ストップボタンやイントロ/エンディングボタンを押して終了させることも可能です。

★再生終了後は再生待ちの状態になります。再生待ちを解除する時は、ソングセレクトボタンを2回押して、プレイバックボタンのランプを消灯させてください。

★テンポやリズムの種類を変えて再生させたり、フィルインを入れることも可能です。



★1,2トラックは、再生させると演奏内容に従って鍵盤ガイドランプが点灯します。もしガイドランプを点灯させたくない場合は、ランプキャンセルボタンを押してください。

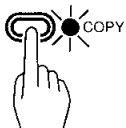
★同時発音数は、リズムが8音で、演奏と再生音は合わせて16音です。

## ディスクコピーの方法 (コピー)

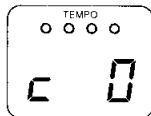
曲作りの時や、ソングのバックアップをとっておきたい時に、ソング番号単位でコピーすることができます。同じディスク内での別のソング番号へのコピー、別のフロッピーディスクへのコピーのどちらでも可能です。

### 同じディスク内での別のソング番号へのコピー

- ①フロッピーディスクが録音可の状態になっていることを確認してディスク装着口に差し込みます。
- ②ソングセレクトボタンを押した上で、テンポ調節ボタンでコピー元のソング番号を指定します。
- ③ソングセレクトボタンをもう一度押してランプを消灯させます。
- ④コピーボタンを押します。



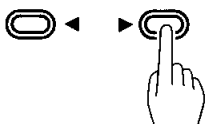
コピーボタンを押すと、ランプが点滅を始め、テンポ/小節数表示器は、c 0の表示になります。



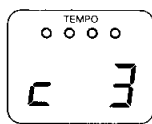
中止したい時はスタート/ストップボタンを押します。

- ⑤テンポ調節ボタンで、コピー先のソング番号を指定します。

ただし、c60以下の番号を指定してください。c60を越えると別ディスクへのコピーの表示になります。



たとえば、3番にコピーしたいのなら▶ボタンを3回押します。



- ⑥もう一度コピーボタンを押します。

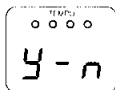
しばらく時間がかかりますが、コピー先ソング番号の表示がテンポ表示に戻るまでお待ちください。



コピーボタンを押すと、ランプが点灯に変わります。

★ここで次のような表示が出る時は、コピー先のソング番号はすでに録音済です。コピー元のソング番号の内容に書き替えてもいい場合のみ、◀ボタンを押してください。

コピーが開始されます。

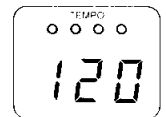


書き替えたくない場合は▶ボタンを押してください。

- ⑦コピーが終了すると……



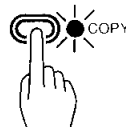
ランプが点灯し、テンポ/小節数表示器はテンポ表示に戻ります。



例: J = 120

### 別のフロッピーディスクへのコピー

- ①コピー元のソングが入っているフロッピーディスクを、ディスク装着口に差し込みます。
- ②ソングセレクトボタンを押した上で、テンポ調節ボタンでコピー元のソング番号を指定します。
- ③ソングセレクトボタンをもう一度押してランプを消灯させます。
- ④コピーボタンを押します。



コピーボタンを押すと、ランプが点滅を始め、テンポ/小節数表示器は、c 0の表示になります。

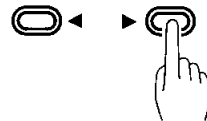


中止したい時はスタート/ストップボタンを押します。

- ⑤テンポ調節ボタンで、コピー先のソング番号を指定します。

▶ボタンを押していき、c60を越えるとcの上にバーが表示されて別ディスクへのコピーの表示になりますので、この表示の数字で指定します。

たとえば、ソング番号12にコピーするとき、c12と指定します。

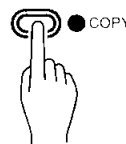


ボタンを押し続けると連続的に変化します。

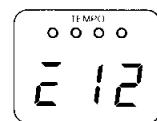


- ⑥もう一度コピーボタンを押します。

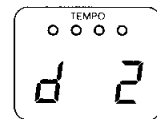
すると、コピー元のデータが、一時的に本体のメモリーに読み込まれます。しばらく時間がかかりますが、読み込みが終るまでお待ちください。



コピーボタンを押すと、ランプが点灯に変わります。



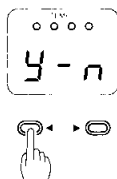
読み込み開始



読み込み終了

- ⑦読み込みが終わったら、コピー元のフロッピーディスクを取り出します。

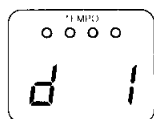
- ⑧コピー先のフロッピーディスクが録音可の状態になっていることを確認してディスク装着口に差し込みます。正しく装着されると次のような表示が出ます。◀ボタンを押すとコピーが開始されます。



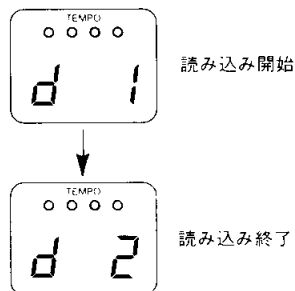
中止したい場合は▶ボタンを押してください。

- ★コピー元のソングの演奏時間が長かったり、1曲の中でたくさんの機能を使っている場合は⑥の操作の時に、メモリーが全てを読み込めない場合があります。

その場合には、ここで次のような表示になります。



このようなときは、コピー先のフロッピーディスクを取り出し、もう一度コピー元ディスクをディスク装着口に差し込んでください。残りの部分が自動的にメモリーに読み込まれます。



このあと、⑦、⑧と同じ操作をしてください。

- ⑨コピーが終了すると……



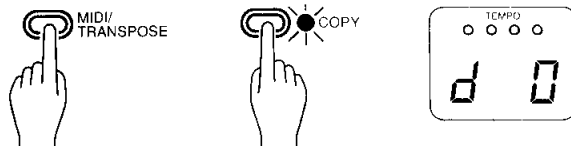
ランプが消灯し、テンポ/小節数表示器はテンポ表示に戻ります。



## 内容の消去 (デリート)

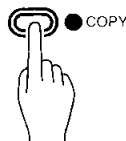
ソング番号単位で、その内容を消去することができます。この操作を実行すると、記録内容を復活させることはできませんので、誤って消去してしまわないように注意してください。

- ①フロッピーディスクが録音可の状態になっていることを確認してディスク装着口に差し込みます。
- ②MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、コピーボタンを押します。



コピーボタンのランプが点滅を始め、テンポ/小節数表示器はソング番号表示になります。テンポ調節ボタンも、ソング番号を選択するボタンになります。

- ③テンポ調節ボタンで消去したいソング番号を選びます。
- ④コピーボタンを押します。

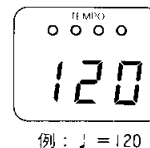


コピーボタンを押すと、ランプが点灯に変わります。

- ⑤消去が終了すると……



ランプが消灯し、テンポ/小節数表示器はテンポ表示に戻ります。



- ★フロッピーディスクに録音されている内容を、全て消してしまいたいときはフォーマットの操作を行います。詳しくは29ページの“ディスクフォーマットの方法”を参照してください。

## 4.市販の録音済みディスクの再生 (ディスクオーケストラ)

クラビノーバのための曲データソフト「ディスクオーケストラコレクション」を使えば、プロの演奏を楽しんだり、右手と左手を別々にレッスンしたりすることができます。

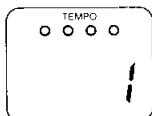
### 再生してみよう

クラビノーバで自動演奏させてみましょう。

- ①「ディスクオーケストラコレクション」のフロッピーディスクを、ディスク装着口に差し込みます。
- ②ソングセレクトボタンを押します。



ソングセレクトボタンを押すと、ランプが点灯し、テンポ/小節数表示器はソング番号表示になります。



- ③テンポ調節ボタンで、再生したい曲の番号を指定します。



◀ボタンを押すごとに、ソング番号が1つずつ小さくなります。

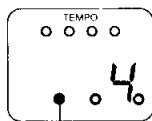
▶ボタンを押すごとに、ソング番号が1つずつ大きくなります。

★ソング番号0を選ぶと、全曲の繰り返しになります。

- ④再生の開始

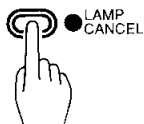
スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押すと、演奏が始まります。カウント音の後に演奏が始まる曲もあります。左手と右手のパートのガイドランプが、曲に合わせて点灯します。

★テンポ/小節数表示器のいちばん左の数字の右下のランプが点灯している時は、ディスク準備中ですので再生の操作をしても演奏は始まりません。



このランプが点灯している時はスタートしない。

★ガイドランプの機能をオフにしたい場合は、ランプキャンセルボタンを押してボタン右側のランプを点灯させます。



- ⑤音量の調節

各ボリュームで各音量を調節できます。

- ・全体：マスターボリューム
- ・右手パート、左手パート：マニュアルボリューム
- ・オブリガートパート：コードボリューム
- ・リズムパート：リズムボリューム

★曲の音量バランスによっては、ボリュームが最小(MIN)までいかないうちに音が消えてしまうパートがあります。

★右手パート、左手パートは、ボリュームを最小(MIN)にしても音は出ます。

- ⑥再生の終了

曲の最後まで再生されると自動的に停止しますが、途中でスタート/ストップボタンやイントロ/エンディングボタンを押して終了させることも可能です。

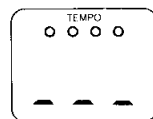
★レフトペダルファンクションの設定をスタート/ストップにすれば、レフトペダルを踏んだ所で演奏が一時停止します。もう一度踏むと解除され、一時停止していた所から演奏が再開されます。ただし、全曲の繰り返し時およびガイド機能を使っている場合は、働きません。

★レフトペダルファンクションの設定をイントロ/エンディングにした場合は、レフトペダルを踏んだ所で、スタート/ストップに設定した場合と同様に演奏が一時停止しますが、ディスク準備中のランプ(テンポ/小節数表示器のいちばん左の数字の右下のランプ)が消灯してからもう一度踏むと、次のフレーズの頭から演奏が再開されます。ただし、全曲の繰り返し時およびガイド機能を使っている場合は、働きません。

★再生時のテンポを変更したい場合には、再生を開始する前に、スプリットポジションボタンを押しながらテンポ調節ボタンで設定してください。

★収録されている曲によっては、テンポが表示されない場合があります。

その場合は、テンポ小節数表示器に次のように表示されます。

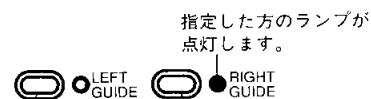


### ガイドランプにしたがってレッスン

クラビノーバには、自分の演奏にクラビノーバが合わせてくれるガイド機能があります。

ここでは、このガイド機能の操作を説明します。

- ①ソングセレクトボタンを押した上で、テンポ調節ボタンでレッスンしたい曲の番号を指定します。
- ②ガイドボタンを押します。



左手のレッスンをするときには、レフトガイドボタンを押します。

指定した方のランプが点灯します。  
右手のレッスンをするときには、ライトガイドボタンを押します。

★両方のボタンを押して、両手同時にレッスンをすることはできません。

### ③再生の開始

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押すと、演奏が始まりますが、イントロが終ると曲が止まって拍子ランプがテンポをきざみ、演奏する鍵盤の上のガイドランプが点灯します。

### ④ガイドランプを追いかけて演奏しましょう。

ガイドランプが点灯している鍵盤を押さえると、次の音のランプが点灯します。

このように、ランプが点灯している鍵盤を押さえていきレッスンをします。点灯している鍵盤を押さえるまで次に進まず待機していますので、ご自分のペースでレッスンをすることができます。



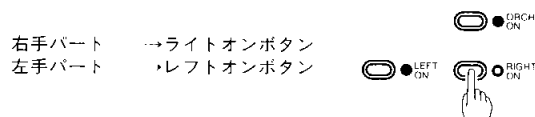
★再生の途中からでも、ガイドボタンをオン/オフすることができます。

## マイナスイオン機能でレッスン

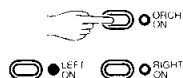
右手パートか左手パートのどちらか選んだパートの音を消してレッスンすることができます。ガイドランプを追いかけてレッスンしましょう。

①ソングセレクトボタンを押した上で、テンポ調節ボタンでレッスンしたい曲の番号を指定します。

②レッスンしたいパートのオンボタンを押してランプを消灯させます。



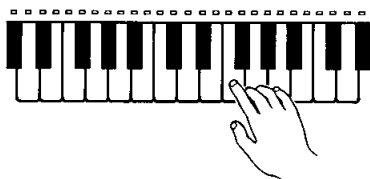
③レッスンの際、オブリガートパートを鳴らしたくない場合は、オーケストラオンボタンを押してランプを消灯させます。



### ④再生の開始

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押すと、演奏が始まりますが、ランプを消灯させたパートの演奏音は消えて、そのパートのガイドランプだけが点灯します。

⑤ガイドランプを追いかけて鍵盤を弾き、選んだパートを集中的にレッスンしましょう。



★ランプキャンセルのボタンを押すと、ガイドランプが消えます。なれてきたらランプを消してレッスンしましょう。

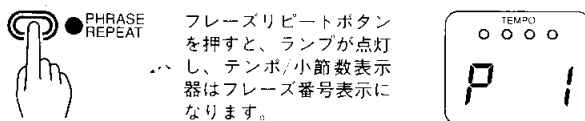
★再生の途中からでも各パートのオンボタンをオン/オフすることができます。

## 苦手なフレーズを繰り返しレッスン

1曲の中の、あるフレーズだけを繰り返し再生させることができます。繰り返しレッスンしてマスターしましょう。

①ソングセレクトボタンを押した上で、テンポ調節ボタンでレッスンしたい曲の番号を指定します。

②フレーズリピートボタンを押します。

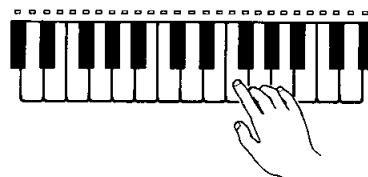


③テンポ調節ボタンで、繰り返しレッスンしたいフレーズの番号を指定します。

### ④再生の開始

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押すと、カウント音の後に演奏が始まります。左手と右手のパートのガイドランプが、曲に合わせて点灯します。

⑤ガイドランプを追いかけて鍵盤を弾き、選んだフレーズを繰り返しレッスンしましょう。



選んだフレーズの最後まで再生すると演奏が中断し、その後、選んだフレーズが自動的に繰り返されます。この時はカウント音は鳴りません。

★ランプキャンセルのボタンを押すと、ガイドランプが消えます。なれてきたらランプを消してレッスンしましょう。

### ⑥フレーズリピートの終了

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して終了します。

★収録されている曲によっては、カウント音が出ないものがあります。

## 5. パネル上の設定を記憶

### (レジストレーション)

パネル上の各設定を1セットにして5種類まで記憶させておくことができます。これにより、好みの状態を瞬時に呼び出せます。

#### 記憶

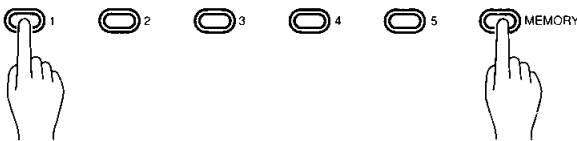
##### ① パネル設定をします。

記憶内容は次のとおりです。

- ・音色の選択
- ・リズムの選択
- ・リズムバリエーションの選択
- ・ブリリアンススイッチの設定
- ・テンポ
- ・ピアノABC/ローオン/ソロスタイルの選択
- ・スプリットポジション
- ・コード音の音色選択
- ・ベース音の音色選択
- ・ローの音色選択
- ・レフトペダルファンクションの選択
- ・マニュアルボリューム、リズムボリューム、コードボリューム、ベースボリューム
- ・リバーブ切替スイッチの効果選択
- ・レフトペダルに設定したフィルイン1か2の選択

##### ② 記憶させます。

メモリーボタンを押しながら、記憶させる番号のボタンを押します。これで記憶完了です。

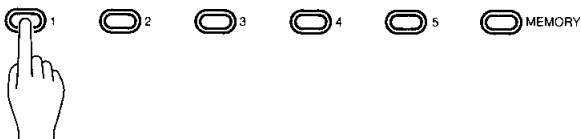


★記憶した内容は、電源を切っても約1週間記憶され続けます。保存する場合は、最低1週間おきに30分以上電源を入れるようにしてください。

★記憶し直すと、前の内容が消えます。

#### 呼び出し

記憶させた番号のボタンを押します。



★記憶させたレジストレーション(パネル設定)の内容は、フロッピーディスクにコピーすることができます。コピーすれば、レジストレーションの設定を使って録音できるようになります。スプリットポジションボタンを押しながら、録音するトラックのレコードボタンを押してください。

(5ヶのレジストレーションのデータが、全てフロッピーディスクに記録されます。)

# ● 練習曲 II

## オリビアを聴きながら

作詞・作曲：尾崎亜美

パフォーマンスメモリー機能を活用して、サウンドを豊かにして弾いてみよう。

### セッティング

リズム	16BEAT1	リズム ボリューム	
テンポ	70	コード ボリューム	
ピアノABC	FINGERED	ベース ボリューム	
スプリット ポジション	F#2		

パフォーマンスメモリーに、フィンガードコードとオブリガートを記憶させて弾いてみましょう(28ページ参照)。

まず、トラック1にコード進行(フィンガードコードのパート)を記憶させます。次に、トラック2にオブリガートを記憶させます。そして、それらを再生しながらメロディーを弾きます。

※レコードボタンを押すと、ピアノABCは解除されますので、レコードボタンを押してからFINGEREDに指定してください。

ゆったりと **INTRO** 音色: STRINGS

$\text{♩} = 70$  G (1×休み) Dm E7

オブリガート

メロディー

フィンガードコード

おきにいのう たひとりきーてみるの  
ジャスミンティーは ー ねむり さそうすり

**FILL IN 1**

A<sub>m</sub> C<sub>m</sub> F<sub>7</sub> B<sup>b</sup> A<sub>7</sub> D

ー オリビアはさみしいころ ながさめてくれるか ー  
ー わたしらしくいちにちを ー おえた い こんなよる ー

C D7 Bm7 Em Am D7 G

であったころは—  
 こんな—ひが—  
 くとはおもわ—ず に い た

C D7 B7 Em Cm7<sup>#(b5)</sup> D7

Making good things better いいえ すんだ—こと— ときを— かさね— た だけ— つか

ENDING

Em EmonD# Em7onD Cm7<sup>#(b5)</sup> Am7 D7 G

れ は た— あ な た わ た し の— ま ぼ ろ し を— あ い し た の—

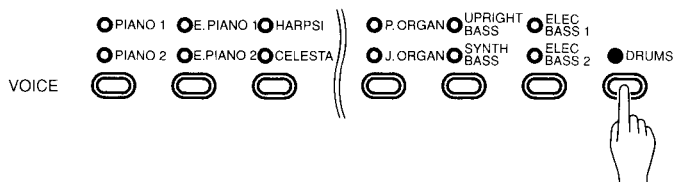
# 5 ステップ3(活用編 II)

## 1. 打楽器を担当してしまおう

44種類の打楽器音を使い、打楽器を担当することができます。鍵盤に各打楽器が割り付けられていますので、鍵盤を押すことにより音を出すことができます。他の楽器とアンサンブルをしたり、リズムをさらに凝ったものにするすることができます。

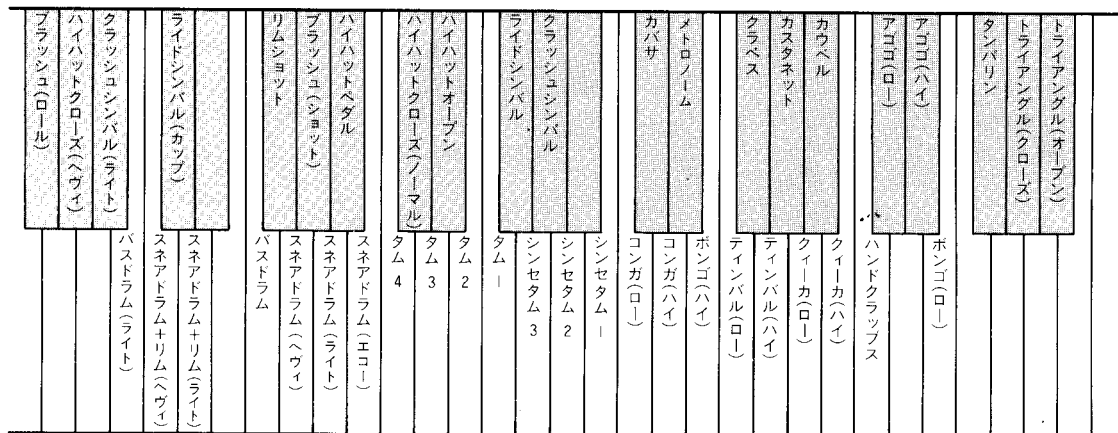
① ボイスセレクトボタンのドラムスを押します。

ランプを点灯させる。



② 演奏します。

F<sup>#</sup><sub>2</sub> ~ A<sup>#</sup><sub>6</sub> の鍵盤に各打楽器が割り付けられていますので、目的の鍵盤を押して演奏します。



・シンセタムは、シンセサイザードラム(エレクトロニックドラム)を意味します。それ以外はアコースティックドラムを意味します。

★ローやベース音、コード音にドラムスの音色を指定することはできません。

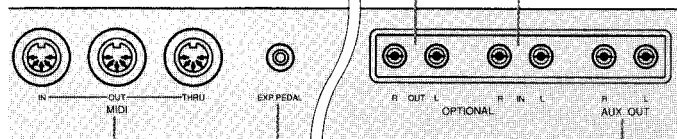
★ドラムスの音色にブリリアンスの調節は動きません。

## 2. 他の機器と接続するには?

リアパネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。

**オプション出力端子**  
外部の製品にクラビノーバの音を送ることができます。

**オプション入力端子**  
外部の製品の音をクラビノーバでいっしょに鳴らすことができます。



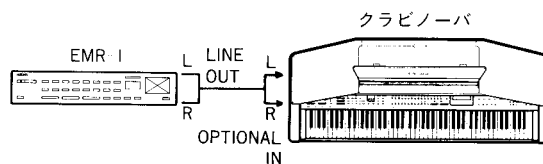
**AUX出力端子**  
ステレオなどに接続して、より大きな音を出したり、演奏を録音することができます。ステレオに接続した時はクラビノーバのボリュームは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

MIDI端子(40ページ参照)

**エクスプレッションペダル端子**  
別売のエクスプレッションペダルEP-1を接続すれば、足元で自由に手弾き音の音量を調節することができます。また、クラビノーバトーンは音が減衰しないで持続ようになります。

### 接続例1

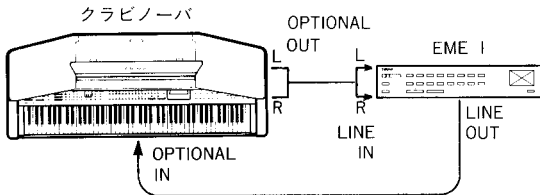
ヤマハ・デジタルドラムスEMR-1のリズムを、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らす。EMR-1では、クラビノーバに内蔵されているリズムよりも、さらに凝った設定ができるようになっています。





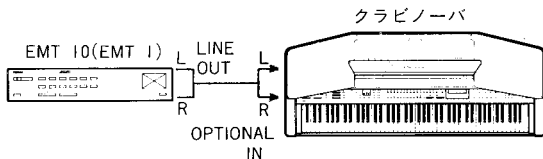
### 接続例2

ヤマハ・デジタルリバーブEME-1を接続することにより、クラビノーバに内蔵されているリバーブとは異なった様々な響きを得ることができます。EME-1には12種類の様々な効果が内蔵されており、曲の雰囲気合った効果を選ぶことができます。



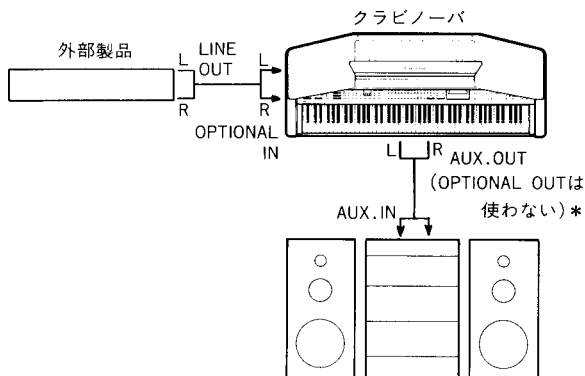
### 接続例3

ヤマハ・AWMサウンドエクパンダーEMT-10やFMサウンドエクパンダーEMT-1の音を、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らす。サウンドをさらに厚みのあるものにできます。



### 接続例4

オプション入力端子から入力した外部製品の音と、クラビノーバの音をまとめてステレオで鳴らす。



\*AUX. OUTはクラビノーバと外部製品の音が両方出ますが、OPTIONAL OUTを使うと、外部製品の音が出なくなってしまいます。

## 3.MIDI機能でステップアップ

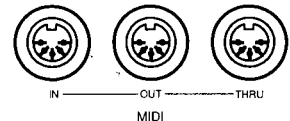
クラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

### MIDIとは?

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、「ミディ」と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

### クラビノーバのMIDI端子

クラビノーバには、次のように3種類のMIDI端子があります。(どのMIDI製品を見ても、実はこの3種類以外にはMIDI端子はありません。)



#### MIDI OUT(メディアアウト)

クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

#### MIDI IN(ミディイン)

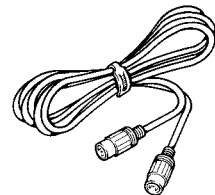
他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

#### MIDI THRU(ミディスルー)

クラビノーバのMIDI IN端子から入力した演奏内容等が、そのまま出力されます。(つまり、さらに別の製品にも同じ内容を送ることが可能)

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル(MIDI 15: 15m) ¥3,000  
MIDIケーブル(MIDI 03: 3m) ¥1,100



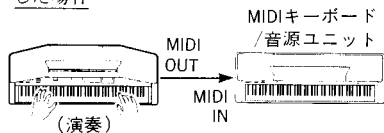
### MIDIでできること

「MIDIでどんなことができるか?」、それは接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品が共通して持っているMIDI機能に関して、やりとりできる可能性があります。

MIDI製品と一口にいっても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介いたします。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

### MIDI OUT端子を使ってできること

#### ◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



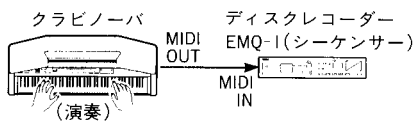
- ★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。
- ★この他に下記のように情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。
  - ・ペダルを操作した時……ペダルの機能に対応した情報を出力
  - ・パネルデータの送信機能を使った時、またはパネルデータ・パルクダンプリクエストを受信した時……パネル上の設定状態等を出力

※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション入力端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

※40ページで紹介するAWMサウンドエクスパンダーEMT-10、FMエクスパンダーEMT-1も音源ユニットに含まれます。音源ユニットは簡単にいうと、キーボードから鍵盤を除いたもの(=音源まわりを残したもの)だと思ってください。

#### ◆MIDIシーケンサーを接続した場合



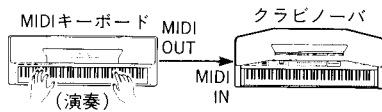
★クラビノーバで演奏する内容、もしくはすでにクラビノーバに録音済みの内容を、ディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)に記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容や録音内容を記録すれば、10トラックという録音(以下記録といいます\*)の制限枠がなくなります。もちろんクラビノーバに保存した場合と同様に、後でそれを自由に再生できます。

\*ここで一つお断りしておきますが、パフォーマンスメモリーに演奏内容を保存させることを他の項では録音と言っていますが、厳密に言えばこれも記録です。(他ではこの違いがあまり問題とならないと同時に、一般的には録音という言葉の方が受け入れられやすいため、あえてこのようにしています。)さらに詳しく言えば、演奏内容を保存させることができる機械にテープレコーダーがありますが、この場合は音そのものを保存させるわけですから録音です。それに対し、パフォーマンスメモリーやシーケンサーに保存させるのは音そのものではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを保存するため、こちらは記録です。事実、シーケンサーを再生する時には音を出す製品(MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの)を組み合わせなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。

★音色の切替情報や様々なイクスクループ情報(44ページ参照)を記録できます。(前項の”MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合”で紹介した情報全て、およびその他)

### MIDI IN端子を使ってできること

#### ◆MIDIキーボードに接続した場合

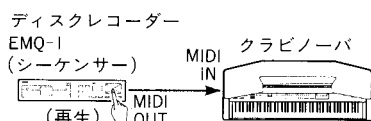


- ★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。
- ★この他に下記のような情報を入力してクラビノーバをコントロール可能です。
  - ・ペダル効果をコントロールする情報
  - ・パネルデータ・パルクダンプのリクエスト情報
  - ・レジストレーションの情報

※MIDIとは直接関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション入力端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

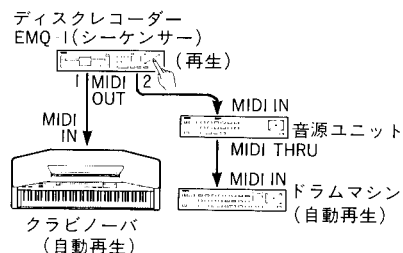
#### ◆MIDIシーケンサーに接続した場合



★ディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)に記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。

### MIDI THRU端子の使い方

MIDI THRU端子はシステム接続する時に便利です。MIDI THRU端子を使った接続として、たとえば次のようなシステムが考えられます。



★これは、ディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)の再生クロックに合わせてクラビノーバも再生させ、シーケンサー内の演奏データは音源ユニットで鳴らすという自動演奏システムです。さらにドラムマシンにより、リズムを加えています。  
※この図では、アンプやスピーカーを省略してあります。

### MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。(設定しなくてもたまたま動くこともありますが……)

#### ◆MIDIチャンネルの設定

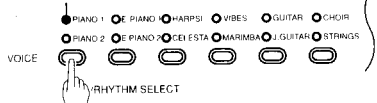
MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり(テレビの場合は1から62ですね)、ほとんどのMIDI情報\*に“これは〇〇チャンネルに対するものだよ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつものチャンネルの情報が次々に出力されます。そしてそれらは1本のMIDIケーブルの中をいっしょに流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、それらの中から必要なチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。そして、最も一般的な接続であるMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。  
\*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

#### 送信チャンネルの設定方法

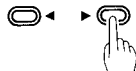
①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、



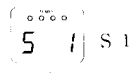
- ②ピアノ1/2ボタンを押します。そして、ピアノ1/2ボタンだけを離します。  
ランプが点灯する。



- ③MIDI/トランスポーズボタンを押した状態で、テンポ調節ボタンを押して、テンポ/小節数表示器に希望するチャンネルNo.を表示させます。



・送信チャンネル1にする場合



・送信チャンネル16にする場合



- ★パワースイッチをオンにした時は、必ず送信チャンネル1となっています。

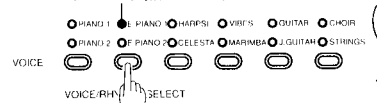
#### 受信チャンネルの設定方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

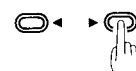


- ②エレクトリックピアノ1/2を押します。そして、エレクトリックピアノ1/2ボタンだけを離します。

ランプが点灯する。



- ③MIDI/トランスポーズボタンを押した状態で、テンポ調節ボタンを押して、テンポ/小節数表示器に希望するチャンネルNo.を表示させます。



・オムニオン+受信チャンネル1にする場合



・オムニオン+受信チャンネル16にする場合



・オムニオン+受信チャンネル16にする場合



- ★パワースイッチをオンにした時は、必ずオムニオン+送信チャンネル1となっています。

※オムニオンは、チャンネル設定に関係なく、どのチャンネルのボイスメッセージ(鍵盤、ペダル、音色スイッチ等)でも受信する状態です。

#### ◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態にすると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。

つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

#### オン/オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、  
②ハープシコード/チェレスタボタンを押します。

- ・ローカルコントロールオフにする場合……ハープシコード/チェレスタボタンのランプを点灯させる。
- ・ローカルコントロールオンに戻す場合……ハープシコード/チェレスタボタンのランプを消灯させる。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずローカルコントロールオンとなっています。

#### ◆プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態にすると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わらなくなります。

つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合(他の機器と音色切替を連動させたくない場合)には、プログラムチェンジオフにしてください。

#### オン/オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、  
②パイプ/マリンバボタンを押します。

- ・プログラムチェンジオフにする場合……パイプ/マリンバボタンのランプを点灯させる。
- ・プログラムチェンジオンに戻す場合……パイプ/マリンバボタンのランプを消灯させる。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずプログラムチェンジオンとなっています。

#### ◆コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態にすると、クラビノーバでペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれらに応じなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

#### オン/オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、  
②ギター/ジャズギターボタンを押します。

- ・コントロールチェンジオフにする場合……ギター/ジャズギターボタンのランプを点灯させる。
- ・コントロールチェンジオンに戻す場合……ギター/ジャズギターボタンのランプを消灯させる。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずコントロールチェンジオンとなっています。

#### ◆マルチティンバーモードオン/オフの切替

マルチティンバーモードオンという状態にすると、チャンネル1~10および15のチャンネルの情報を、同時に受信できるようになります。(チャンネル15はリズム専用です。)

たとえばディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)に記録されている複数のチャンネルの演奏情報をクラビノーバに受信させ、それぞれの音色で同時に鳴らしたい時に、マルチティンバーモードオンにします。

マルチティンバーモードオンにすることにより、次の表のように情報を受信できます。

	CH 1	CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	CH 6	CH 7	CH 8	CH 9	CH 10	CH 15
プログラムチェンジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボリューム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サスティン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトペダル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
オールノートオフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ローカルコントロールオン/オフ	設定受信チャンネルで受信可能										

- は受信可能、×は受信不可能を意味します。
- ・プログラムチェンジが送られて来れば、対応する音色に切り替わります。
- ・チャンネル15の情報には本機のリズムが対応(チャンネル15はリズム専用)しますが、プログラムチェンジの0~31, 98, 99でリズム変更が可能です。
- ・リズムを鳴らさずに4拍子のテンポを保持させる場合はp=99、3拍子のテンポを保持させる場合はp=98に設定してください。
- ・p=98および99は他のキーボード等を使ってメモリーしてください。
- ・チャンネル15ではドラムスの音色の情報も受け付けます。

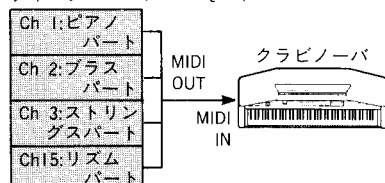
#### オン/オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、  
②クワイア/ストリングスボタンを押します。
- ・マルチティンバーモードオンにする場合……クワイア/ストリングスボタンのランプを点灯させる。
  - ・マルチティンバーモードオフに戻す場合……クワイア/ストリングスボタンのランプを消灯させる。

★クラビノーバを送信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★マルチティンバーモードの代表的な使用例は次のとおりです。

ディスクレコーダーEMQ-1(シーケンサー)



これらのパートの音をクラビノーバのそれぞれの音色で鳴らす。

つまり(別々のチャンネルで)シーケンサーに記録された様々なパートの演奏を、クラビノーバ1台で再生できます。

- ★パワースイッチをオンにした時は、必ずマルチティンバーモードオフとなっています。
- ★同時に発音できるのは1~10チャンネル合計で16音(15チャンネルは8音)までです。

#### EMQ 1への記録手順の例

EMQ 1への送信時(記録時)には、MIDIチャンネルは各パート共に1~16チャンネルの範囲で設定できますが、受信時には1~10および15チャンネルの情報を受け付け可能ですので、ご注意ください。(チャンネル15はリズムおよびドラムの音源が対応します。)

ここでは、マルチティンバーモードの代表的な使用例として掲げた上記の図を例に掲げます。

- ①クラビノーバのMIDI OUT端子とEMQ-1のMIDI IN端子を、MIDIケーブルで接続します。
- ②EMQ 1にリズムを記録します。(リズムでなく、ドラムの音色を指定して自分でリズムを演奏してもかまいません。)
- ② 1まず、MIDI送信チャンネルを15にします。
- ② 2 EMQ 1を記録スタートさせます。
- ② 3リズムを選んだり、テンポや音量を調整します。(記録はスタートされていますので、素早く行います。)
- ② 4実際にリズムをスタートさせて記録します。
- ③MIDI送信チャンネルを1にしたうえで、EMQ-1を記録スタートさせてから音色をピアノ1にしてピアノパートを記録します。記録済みのリズムを聞きながら演奏してください。
- ④同様に、送信チャンネル2でEMQ-1を記録スタートさせてからプラスパートを記録します。
- ⑤同様に、送信チャンネル3でEMQ-1を記録スタートさせてからストリングスパートを記録します。

これで完了です。再生時にはクラビノーバをマルチティンバーモードにして、EMQ 1に記録した全てのパートを再生させてください。

#### ◆スプリット送信モードオン/オフの切替

ピアノABCやローオン状態の時に、スプリット送信モードオンという状態になると、低音部と高音部の演奏(ノートオン/オフ)情報が、異なったチャンネルNo.で送信されるようになります。

「クラビノーバ上で低音部と高音部を異なった音色で鳴らすばかりでなく、外部の製品側でもそうしたい。」という場合、スプリット送信モードオンにしてください。

#### 設定方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②ウッド/プラスボタンを押します。
  - ・スプリット送信モードオンにする場合……ウッド/プラスボタンのランプを点灯させる。
  - ・スプリット送信モードオフにする場合……ウッド/プラスボタンのランプを消灯させる。

★低音部の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部の製品のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また高音部の演奏情報は「MIDIチャンネルの設定」のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。

★低音部と高音部の演奏情報を、MIDIシーケンサーに別々のチャンネルで記録することも可能です。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずスプリット送信モードオフとなっています。

#### ◆外部クロック/内部クロックの切替

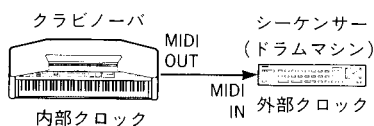
本機のリズムを制御するクロックを選択できます。外部クロックにすると、クラビノーバのリズムの速さが外部のシーケンサーやドラムマシンによってコントロールされるようになり、内部クロックにすると、クラビノーバのリズムの速さはクラビノーバ自身によってコントロールされるようになります。

#### 設定方法

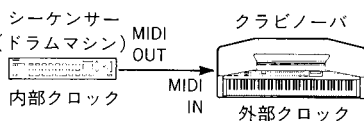
- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②サックス/シンセボタンを押します。

- ・外部クロックにする場合……サックス/シンセボタンのランプを点灯させる。
- ・内部クロックにする場合……サックス/シンセボタンのランプを消灯させる。

★外部のシーケンサーやドラムマシンの再生スピードを、クラビノーバのリズムの速さに合わせる場合は、次のようにセットしてください。



★クラビノーバのリズムの速さを、外部のシーケンサーやドラムマシンの再生スピードに合わせる場合は、次のようにセットしてください。



★パワースイッチをオンにした時は、必ず内部クロックとなっています。

#### ◆パネルデータの送信

パネル上の設定状態をシーケンサーに記録したり、別のCVP 50のパネル上の設定をクラビノーバに合わせるができます。

シーケンサーに演奏情報を記録する前にパネル情報を記録しておけば、後でシーケンサーを再生した時、自動的にクラビノーバの状態が記録した時の状態に切り替わります。

#### 送信方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②パイプオルガン/ジャズオルガンボタンを押します。すると、すぐに送信が開始されます。

#### ◆レッスンモードの切替

ディスクレコーダーEMQ 1にエデュケーショナルシリーズという再生専用ソフトを組み合わせ、それをクラビノーバを使って鳴らす場合のみ関係します。エデュケーショナルシリーズは左手パートと右手パートを独立させて再生できるソフトです。

このレッスンモード機能は、どちらか片方のパートのみ再生させて、それを聴きながらもう片方を練習できるようにしよう、というものです。

★左手パートはチャンネル2で、右手パートはチャンネル1でやりとりします。

#### 左手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
  - ②B<sub>-1</sub>の鍵盤を押します。すると、左手再生モードになり、左手パートのみ再生させることが可能になります。
- ★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル2になります。

#### 右手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
  - ②A<sub>-1</sub>の鍵盤を押します。すると右手再生モードになり、右手パートのみ再生させることが可能になります。
- ★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル1になります。

#### 両手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
  - ②B<sub>-1</sub>とA<sub>-1</sub>の鍵盤の両方を押します。すると両手再生モードになり、両パートを再生させることが可能になります。
- ★このモードにすると、オムニオン+受信チャンネル1になります。

## MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読める方はご覧ください。CVP-50のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知る上で役立つことがあります。

この項では、数値の表現方法として2進数、10進数、16進数の3通りが使われていますので、ご注意ください。原則として、8桁表示のもの(たとえば“1001nnnn”)は2進数、2桁表示で右側に1の付いたもの(たとえば“9n11”)などは16進数、その他は10進数となっています。

### 1. 送信データ

#### 1-1. チャンネルインフォメーション

##### ◆チャンネルボイスメッセージ

###### ①ノートオン/オフ:

鍵盤を押した時に送信します。またリズムを鳴らしている時および音色をドラムスにして鍵盤を押した時に送信します。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

###### リズムおよびドラムスの場合

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=54(BRUSH ROLL), 56(HI-HAT CLOSED HEAVY), 58(CRASH CYMBAL LIGHT), 59(BASS DRUM LIGHT), 60(SD-RIM HEAVY), 61(RIDE SYMBAL CUP), 62(SD-RIM LIGHT), 65(BASS DRUM), 66(RIM SHOT), 67(SNARE DRUM HEAVY), 68(BRUSH SHOT), 69(SNARE DRUM LIGHT), 70(HI-HAT PEDAL), 71(SNARE DRUM ECHO), 72(TOM 4), 73(HI-HAT CLOSED), 74(TOM 3), 75(HI-HAT OPEN), 76(TOM 2), 77(TOM 1), 78(RIDE SYMBAL), 79(ELECTRONIC TOM 3), 80(CRASH CYMBAL), 81(ELECTRONIC TOM 2), 83(ELECTRONIC TOM 1), 84(CONGA LOW), 85(CABASA), 86(CONGA HIGH), 87(METORONOME), 88(BONGO), 89(TIMBALE LOW), 90(CLAVES), 91(TIMBALE HIGH), 92(CASTANETS), 93(CUICA LOW), 94(COWBELL), 95(CUICA HIGH), 96(HAND CLAPS), 97(AGOGO LOW), 99(AGOGO HIGH), 100(BONGO LOW), 102(TAMBOURINE), 104(TRIANGLE CLOSED), 106(TRIANGLE OPEN)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

###### ②コントロールチェンジ:各ペダル操作などをした時に送信します。

ステータス	1011nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc	
コントロール値	0vvvvvvv	

コントロールNo.	コントロール値
c=1 モジュレーション(ビブラート)*	v=0(オフ)~127(最大)
c=7 マニュアルボリューム	v=0(最小)~127(最大)
c=11 エクスプレッションペダル	v=0(最小)~127(最大)
c=64 ダンパー	v=0(最小)~127(最大)
c=66 ソステナート	v=0~63(オフ), 64~127(オン)
c=67 ソフト	v=0~63(オフ), 64~127(オン)

\* ディスクオーケストラコレクション再生時に送信します。

###### ③プログラムチェンジ:音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	1100nnnn(CnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo.	0ppppppp	p=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO 1), 3(E.PIANO 2), 4(HARPSI), 5(CELESTA), 6(VIBES), 7(MARIMBA), 8(GUITAR), 9(J.GUITAR), 10(CHORIR), 11(STRINGS), 12(WOOD), 13(BRASS), 14(SAX), 15(SYNTH), 16(P.ORGAN), 17(J.ORGAN), 18(UPRIGHT BASS), 19(SYNTH BASS), 20(ELEC BASS 1), 21(ELEC BASS 2), 22(DRUMS)

###### ④ピッチ・ベンド・チェンジ:

このメッセージが記録されている「ディスクオーケストラコレクション」のソフトを再生した場合に送信します。

ステータス	1110nnnn(EnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
値(LSB)	0ccccccc	
値(MSB)	0dddddd	

送信データは次のようになる。

MSB	LSB	
01111111(7FH)	01111110(7EH)	: 最大値
01111110(7EH)	01111100(7CH)	
01111101(7DH)	01111010(7EH)	

01000001(41H)	00000010(02H)	
01000000(40H)	00000000(00H)	: 中心値
00111111(3FH)	00000000(00H)	

00000001(01H)	00000000(00H)	
00000000(00H)	00000000(00H)	: 最小値

#### 1-2. システムインフォメーション

##### ◆システムリアルタイムメッセージ

###### ①タイミングクロック:

内部クロックの状態にして、リズムを鳴らしている間送信します。

ステータス	1111000(F8H)
-------	--------------

###### ②スタート:リズムをスタートさせた時に送信します。

ステータス	1111010(FAH)
-------	--------------

###### ③ストップ:リズムを停止させた時に送信します。

ステータス	1111100(FCH)
-------	--------------

###### ④アクティブセンシング:約200msecごとに1回送信します。

ステータス	1111110(FEH)
-------	--------------

##### ◆システムイクスクルーシブメッセージ

###### ①パネルデータバルクダンプ:

パネルデータの送信機能を働かせた時と、パネルデータバルクダンプリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	“システムイクスクルーシブ”
ID No.	01000011(43H)	“ヤマハ”
サブステータス	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111100(7CH)	
バイトカウント(MSB)	0bbbbbbb	
バイトカウント(LSB)	0bbbbbbb	

01010011(53H)	
01001011(4BH)	
00100000(2PH)	
00100000(20H)	
01000011(43H)	
01010110(56H)	
01010000(50H)	
00110000(30H)	
00110101(35H)	
00110000(30H)	

バージョンNo.	00000001(01H)
	00000000(00H)

データ	0dddddd
-----	---------

データ	0dddddd
-----	---------

データ	0dddddd
-----	---------

チェックサム	0eeeeeee
--------	----------

EOX	11110111(F7H)
-----	---------------

— パネルデータ (21バイト)

###### ②クラビノーバ共通セットアップデータ(マルチティンバーモードオン):

マルチティンバーモードオンの操作をした時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	“システムイクスクルーシブ”
ID No.	01000011(43H)	“ヤマハ”
ID No.	01001001(73H)	“クラビノーバ”
ID No.	00000001(01H)	“クラビノーバ共通”
データ	00010101(15H)	“マルチティンバーモードオン”
EOX	11110111(F7H)	

③クラビノーバ共通セットアップデータ(マルチティンバーモードオフ):  
マルチティンバーモードオフの操作をした時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00000001(01H)	"クラビノーバ共通"
データ	00010011(13H)	"マルチティンバーモードオフ"
EOX	11110111(F7H)	

④CVP-50専用セットアップデータ(ピアノABC切替):  
ピアノABC機能を切り替えた時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001111(0FH)	チャンネルNo.16、"コントロール"
コントロールNo.	00010000(10H)	"ピアノABC"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(SINGLE FINGER), 2(FINGERED)
EOX	11110111(F7H)	

⑤CVP-50専用セットアップデータ(リズムバリエーション切替):  
リズムバリエーションを切り替えた時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001110(0EH)	チャンネルNo.15、"リズム"
コントロールNo.	00010001(11H)	"リズムバリエーション"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(VARIATION ON)
EOX	11110111(F7H)	

⑥CVP-50専用セットアップデータ(フィルイン):  
フィルインボタンを押した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001110(0EH)	チャンネルNo.15、"リズム"
コントロールNo.	00010010(12H)	"フィルイン"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(FILL IN 1), 2(FILL IN 2)
EOX	11110111(F7H)	

⑦CVP-50専用セットアップデータ(イントロ/エンディング):  
イントロ/エンディングボタンを押した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001110(0EH)	チャンネルNo.15、"リズム"
コントロールNo.	00010011(13H)	"イントロ/エンディング"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(INTRO), 2(ENDING), 3(BREAK OFF), 4(BREAK ON)
EOX	11110111(F7H)	

⑧CVP-50専用セットアップデータ(スプリットポジション変更):  
スプリットポジションを指定した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001111(0FH)	チャンネルNo.16、"コントロール"
コントロールNo.	00010100(14H)	"スプリットポジション変更"
コントロール値	0vvvvvvv	v=21(A)~108(C)
EOX	11110111(F7H)	

⑨CVP-50専用セットアップデータ(リズムナンバー変更):  
リズムを切り替えた時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001110(0EH)	チャンネルNo.15、"リズム"
コントロールNo.	00010101(15H)	"リズムNo.変更"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(POPS 1), 1(POPS 2), 2(POPS 3), 3(POPS 4), 4(ROCK'N), 5(SLOW ROCK), 6(DISCO 1), 7(DISCO 2), 8(16BEAT 1), 9(16BEAT 2), 10(COUNTRY 1), 11(COUNTRY 2), 12(SHUFFLE 1), 13(SHUFFLE 2), 14(SWING 1), 15(SWING 2), 16(SWING 3), 17(JAZZ WALTZ), 18(BOOGIE), 19(RAGTIME), 20(BOSSA), 21(CHA-CHA), 22(SAMBA), 23(RHUMBA), 24(TANGO), 25(REGGAE), 26(SALSA), 27(LATIN POP), 28(MARCH), 29(CLASSIC), 30(WALTZ), 31(METRONOME)
EOX	11110111(F7H)	

⑩CVP-50専用セットアップデータ(ローオン/OFF):  
ローオンボタンを押した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001111(0FH)	チャンネルNo.16、"コントロール"
コントロールNo.	00010111(17H)	"ローオン/OFF"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(ON)
EOX	11110111(F7H)	

⑪CVP-50専用セットアップデータ(音色変更):  
ロー、コード、ベースの音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	0000nnnn(0nH)	n=1(チャンネルNo.2、ロー)、2(チャンネルNo.3、ベース)、4(チャンネルNo.5、コード)
コントロールNo.	00011000(18H)	"音色No.変更"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(E.PIANO 1), 3(E.PIANO 2), 4(HARPSI), 5(CELESTA), 6(VIBES), 7(MARIMBA), 8(GUITAR), 9(J.GUITAR), 10(CHOR), 11(STRINGS), 12(WOOD), 13(BRASS), 14(SAX), 15(SYNTH), 16(P.ORGAN), 17(J.ORGAN), 18(UPRIGHT BASS), 19(SYNTH BASS), 20(ELEC BASS 1), 21(ELEC BASS 2)
EOX	11110111(F7H)	

⑫CVP-50専用セットアップデータ(ボリューム):  
ロー、コード、ベース、マニュアルの音量を調節した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	0000nnnn(0nH)	n=1(チャンネルNo.2、ロー)、2(チャンネルNo.3、ベース)、4(チャンネルNo.5、コード)
コントロールNo.	00011001(19H)	"ボリューム"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(最小)~127(最大)
EOX	11110111(F7H)	

⑬CVP-50専用セットアップデータ(リズムボリューム):  
リズムの音量を調節した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	00011110(1EH)	"CVP 50"
特殊操作子	00010001(11H)	

チャンネル 00001110(0EH) チャンネルNo.15、“リズム”  
 コントロールNo. 00011010(1AH) “リズムボリューム”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(最小)~127(最大)  
 EOX 11110111(F7H)

⑭CVP-50専用セットアップデータ(レジストレーションNo.):

レジストレーションボタンを押した時に送信します。

ステータス 11110000(F0H) “システムイクスクルーシブ”  
 ID No. 01000011(43H) “ヤマハ”  
 ID No. 01001001(73H) “クラビノーバ”  
 ID No. 00011110(1EH) “CVP-50”  
 特殊操作子 00010001(11H)  
 チャンネル 00001111(0FH) チャンネルNo.16、“コントロール”  
 コントロールNo. 00100000(20H) “レジストレーション”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(レジストレーションボタン1)~  
 4(レジストレーションボタン5)  
 EOX 11110111(F7H)

⑮CVP-50専用セットアップデータ(ソロスタイルプレイ):

ソロスタイルプレイボタンを押した時に送信します。

ステータス 11110000(F0H) “システムイクスクルーシブ”  
 ID No. 01000011(43H) “ヤマハ”  
 ID No. 01001001(73H) “クラビノーバ”  
 ID No. 00011110(1EH) “CVP-50”  
 特殊操作子 00010001(11H)  
 チャンネル 00001111(0FH) チャンネルNo.16、“コントロール”  
 コントロールNo. 00100001(21H) “ソロスタイルプレイ”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(OFF), 1(POP ORCH), 2(JAZZ QUARTET),  
 3(COCKTAIL PIANO), 4(COUNTRY PIANO),  
 5(ROCK BAND)  
 EOX 11110111(F7H)

⑯CVP-50専用セットアップデータ(プリリアンススイッチ切替):

プリリアンススイッチを切り替えた時に送信します。

ステータス 11110000(F0H) “システムイクスクルーシブ”  
 ID No. 01000011(43H) “ヤマハ”  
 ID No. 01001001(73H) “クラビノーバ”  
 ID No. 00011110(1EH) “CVP-50”  
 特殊操作子 00010001(11H)  
 チャンネル 00000000(00H) チャンネルNo.1 “マニュアル”  
 コントロールNo. 01011000(58H) “プリリアンス”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(NORMAL), 1(MELLOW), 2(BRIGHT)  
 EOX 11110111(F7H)

⑰CVP-50専用セットアップデータ(リバーブ切替):

リバーブ切替スイッチを切り替えた時に送信します。

ステータス 11110000(F0H) “システムイクスクルーシブ”  
 ID No. 01000011(43H) “ヤマハ”  
 ID No. 01001001(73H) “クラビノーバ”  
 ID No. 00011110(1EH) “CVP-50”  
 特殊操作子 00010001(11H)  
 チャンネル 00001111(0FH) チャンネルNo.16、“コントロール”  
 コントロールNo. 01011001(59H) “リバーブ”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(OFF), 1(ROOM), 2(HALL 1), 3(HALL 2),  
 4(COSMIC)  
 EOX 11110111(F7H)

⑱CVP-50専用セットアップデータ(レフトペダルファンクション):

レフトペダルの機能を切り替えた時に送信します。

ステータス 11110000(F0H) “システムイクスクルーシブ”  
 ID No. 01000011(43H) “ヤマハ”  
 ID No. 01001001(73H) “クラビノーバ”  
 ID No. 00011110(1EH) “CVP-50”  
 特殊操作子 00010001(11H)  
 チャンネル 00001111(0FH) チャンネルNo.16、“コントロール”  
 コントロールNo. 01011011(5BH) “レフトペダルファンクション”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(SOFT), 1(SOSTENUTO), 2(START STOP),  
 3(INTRO ENDING), 4(FILL IN),  
 5(S.STYLEPLAY)  
 EOX 11110111(F7H)

⑲CVP-50専用セットアップデータ(パフォーマンスメモリー):

パフォーマンスメモリー機能を実行した時に送信します。

ステータス 11110000(F0H) “システムイクスクルーシブ”  
 ID No. 01000011(43H) “ヤマハ”  
 ID No. 01001001(73H) “クラビノーバ”  
 ID No. 00011110(1EH) “CVP-50”

特殊操作子 00010001(11H) \*  
 チャンネル 0000nnnn(0nH) n=0(チャンネルNo.1、トラック1),  
 n=1(チャンネルNo.2、トラック2),  
 n=2(チャンネルNo.3、トラック3 10),  
 コントロールNo. 01111111(7FH) “パフォーマンスメモリー”  
 コントロール値 0vvvvvvv v=32(RECORD ON), 33(RECORD OFF),  
 34(PLAY BACK ON), 35(PLAY BACK OFF)  
 EOX 11110111(F7H)

2. 受信データ

2-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン/オフ:

ノートNo.によって発音の音程が決まり、ベロシティによって音量および音色が決まります。またリズムおよびドラムスについては、ノートNo.によって打楽器音が決まり、ベロシティによって音量が決まります。データについては、送信データの項を参照。

②ノートオフ:

ノートオフをステータス8nHで送り出す機器との対応のためです。

ステータス 1000nnnn(8nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)  
 ノートNo. 0kkkkkkk k=21(A)~108(C)  
 ベロシティ 0vvvvvvv v=無視します

③コントロールチェンジ: メッセージに従って各対応をします。

ステータス 1011nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)  
 コントロールNo. 0ccccccc  
 コントロール値 0vvvvvvv  
 コントロールNo. コントロール値  
 c=1 モジュレーション(ピブラート) v=0(オフ)~127(最大)  
 c=7 マニュアルボリューム v=0(最小)~127(最大)  
 c=11 エクスプレッションペダル v=0(最小)~127(最大)  
 c=64 ダンパー v=0(最小)~127(最大)  
 c=66 ソステヌート v=0~63(オフ), 64~127(オン)  
 c=67 ソフト v=0~63(オフ), 64~127(オン)

④プログラムチェンジ:

プログラムNo.によって音色が決まります。パネル音色に加えて、それ以外にクラビノーバが持っている音色に切り替えることもできます。持続音色は、パネル音色と同じ音色ですが音が減衰しないで持続します。なお、指定番号よりプログラムNo.の大きいメッセージは無視します。

ステータス 1100nnnn(CnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)  
 プログラムNo. 0ppppppp パネル音色  
 p=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(CE.PIANO 1),  
 3(CE.PIANO 2), 4(HARPSI), 5(CELESTA),  
 6(VIBES), 7(MARIMBA), 8(GUITAR),  
 9(J.GUITAR), 10(CHOIR), 11(STRINGS),  
 12(WOOD), 13(BRASS), 14(SAX),  
 15(SYNTH), 16(P.ORGAN), 17(J.ORGAN),  
 18(UPRIGHT BASS), 19(SYNTH BASS),  
 20(ELEC BASS 1), 21(ELEC BASS 2), 22(DRUMS)  
 BACK音色  
 p=23(SOLO STRINGS), 24(PIZZICATO),  
 25(TIMPANI&STEEL DR), 26(OBOE), 27(CLARINET),  
 28(ROCK GUITAR 1), 29(ROCK GUITAR 2),  
 30(MUTE TRUMPET), 31(ACCORDION), 32(HORN),  
 33(SY.PIANO), 34(SY.VOCAL), 35(SY.CRYSTAL),  
 36(SY.LEAD), 37(HARMONICA), 38(BANJO),  
 39(BASSOON), 40(HARP)  
 持続音色  
 p=41(CHOIR), 42(STRINGS), 43(WOOD), 44(BRASS),  
 45(SAX), 46(SYNTH), 47(P.ORGAN), 48(J.ORGAN)

BACK音色、持続音色の推奨使用音域は次のとおりです。

SOLO STRINGS	:C <sub>0</sub> ~C <sub>6</sub>	SY.LEAD	:C <sub>2</sub> ~F <sub>6</sub>
PIZZICATO	:C <sub>3</sub> ~C <sub>6</sub>	HARMONICA	:C <sub>1</sub> ~C <sub>6</sub>
TIMPANI&STEEL DR	:C <sub>0</sub> ~F <sub>2</sub>	BANJO	:C <sub>3</sub> ~A <sub>5</sub>
OBOE	:A <sub>2</sub> ~G <sub>5</sub>	BASSOON	:A <sub>0</sub> ~F <sub>4</sub>
CLARINET	:E <sub>2</sub> ~A <sub>5</sub>	HARP	:A <sub>0</sub> ~C <sub>7</sub>
ROCK GUITAR 1	:D <sub>2</sub> ~A <sub>5</sub>	CHOIR	:E <sub>1</sub> ~E <sub>5</sub>
ROCK GUITAR 2	:D <sub>2</sub> ~A <sub>5</sub>	STRINGS	:C <sub>0</sub> ~C <sub>6</sub>
MUTE TRUMPET	:F <sub>2</sub> ~A <sub>5</sub>	WOOD	:C <sub>2</sub> ~C <sub>7</sub>
ACCORDION	:F <sub>2</sub> ~A <sub>5</sub>	BRASS	:F <sub>1</sub> ~C <sub>6</sub>
HORN	:A <sub>2</sub> ~F <sub>5</sub>	SAX	:A <sub>0</sub> ~F <sub>6</sub>
SY.PIANO	:A <sub>1</sub> ~C <sub>7</sub>	SYNTH	:C <sub>1</sub> ~C <sub>6</sub>
SY.VOCAL	:C <sub>2</sub> ~E <sub>5</sub>	P.ORGAN	:C <sub>0</sub> ~C <sub>6</sub>
SY.CRYSTAL	:C <sub>2</sub> ~C <sub>6</sub>	J.ORGAN	:C <sub>1</sub> ~C <sub>6</sub>

⑤ピッチ・ベンド・チェンジ:

このメッセージを受信すると、発音のピッチが変わります。データについては、送信データの項を参照。

◆チャンネルモードメッセージ

メッセージに従って各対応をします。

ステータス	1011nnnn(BnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc	c=121(リセットオールコントローラー*), 122(ローカルコントロール), 123(オールノートオフ*), 124(オムニオフ・オールノートオフ), 125(オムニオン・オールノートオフ)
コントロール値	0vvvvvvv	ローカルコントロール v=0(オフ), 127(オン) ローカルコントロール以外 v=0

\*リセットオールコントローラーおよびオールノートオフはオムニオフまたはマルチティンバーモード・オンの時のみ認識します。

2-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

①タイミングクロック:

外部クロックの状態にした時に受信可能で、これにより同期します。

ステータス 11111000(F8H)

②スタート:受信すると、リズムがスタートします。

ステータス 11111010(FAH)

③ストップ:受信すると、リズムが停止します。

ステータス 11111100(FCH)

④アクティブセンシング:

受信すると、センシングを開始します。その後400msecの間ステータスもデータもこない場合には、発音を強制的に停止させます。

ステータス 11111110(FEH)

◆システムイクスクルーシブメッセージ

①パネルデータバルクダンプリクエスト:

このメッセージを受信すると、パネルデータを送信します。

ステータス	11110000(FOH)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0010nnnn(2nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111100(7CH)	ユニバーサルバルクダンプリクエスト
EOX	11110111(F7H)	

②パネルバルクデータ:

このメッセージを受信すると、パネル上の各設定が変わります。データについては、送信データの項を参照。

③クラビノーバ共通セットアップデータ:

このメッセージを受信すると、MIDI関係の各設定が変わります。

ステータス	11110000(FOH)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	0iiiiiii	i=1(スタンダード), 30(CVP-50)
データ	0ddddd	d=2(内部クロック), 3(外部クロック), 19(マルチティンバーモードオフ), 21(マルチティンバーモードオン), 112(受信チャンネルNo.変更1)  127(受信チャンネルNo.変更16)
EOX	11110111(F7H)	

④CVP-50専用セットアップデータ(ピアノABC切替):

このメッセージを受信すると、ピアノABC機能が切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑤CVP-50専用セットアップデータ(リズムバリエーション切替):

このメッセージを受信すると、リズムバリエーションが切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑥CVP-50専用セットアップデータ(フィルイン):

このメッセージを受信すると、フィルインが制御されます。データについては、送信データの項を参照。

⑦CVP-50専用セットアップデータ(イントロ/エンディング):

このメッセージを受信すると、イントロ、エンディング、ブレイクが制御されます。データについては、送信データの項を参照。

⑧CVP-50専用セットアップデータ(スプリットポジション変更):

このメッセージを受信すると、スプリットポジションが切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑨CVP-50専用セットアップデータ(リズムナンバー変更):

このメッセージを受信すると、各リズムに切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑩CVP-50専用セットアップデータ(ローワーON/OFF):

このメッセージを受信すると、ローワーON/OFFが制御されます。データについては、送信データの項を参照。

⑪CVP-50専用セットアップデータ(音色変更):

このメッセージを受信すると、ローワー、コード、ベースの音色が切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑫CVP-50専用セットアップデータ(ボリューム):

このメッセージを受信すると、ローワー、コード、ベース、マニュアルの各音量が制御されます。データについては、送信データの項を参照。

⑬CVP-50専用セットアップデータ(リズムボリューム):

このメッセージを受信すると、リズムの音量が制御されます。データについては、送信データの項を参照。

⑭CVP-50専用セットアップデータ(レジストレーションNo.):

このメッセージを受信すると、対応する番号のレジストレーションが呼び出されます。データについては、送信データの項を参照。

⑮CVP-50専用セットアップデータ(ソロスタイルブレイ):

このメッセージを受信すると、ソロスタイルブレイの演奏形態が切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑯CVP-50専用セットアップデータ(プリリアンススイッチ切替):

このメッセージを受信すると、プリリアンスの設定が変わります。

ステータス	11110000(FOH)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	0iiiiiii	i=1(スタンダード), 30(CVP-50)
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00000000(00H)	チャンネルNo.1 "マニュアル"
コントロールNo.	01011000(58H)	"プリリアンス"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(NORMAL), 1(MELLOW), 2(BRIGHT)
EOX	11110111(F7H)	

⑰CVP-50専用セットアップデータ(リバーブ切替):

このメッセージを受信すると、リバーブの設定が変わります。

ステータス	11110000(FOH)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
ID No.	01001001(73H)	"クラビノーバ"
ID No.	0iiiiiii	i=1(スタンダード), 30(CVP-50)
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	00001111(0FH)	チャンネルNo.16, "コントロール"
コントロールNo.	01011001(59H)	"リバーブ"
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(ROOM), 2(HALL 1), 3(HALL 2), 4(COSMIC)
EOX	11110111(F7H)	

⑱CVP-50専用セットアップデータ(レフトペダルファンクション):

このメッセージを受信すると、レフトペダルの機能が切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑲CVP-50専用セットアップデータ(パフォーマンスメモリー):

このメッセージを受信すると、パフォーマンスメモリー機能の録音、再生が制御されます。データについては、送信データの項を参照。



# CVP-50

# MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1989. 3. 3  
Version: 1.0

ファンクション…	送	信	受	信	備	考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル		1チャンネル 1~16チャンネル			
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****		モード1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×			
ノート ナンバー 音域	21~108 *****		21~108 21~108			
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、v=1~127 × 9nH、v=0		○ v=1~127 ×			
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	○ ※2		○			
コントロール チェンジ	01 ○ ※2 07 ○ 11 ○ 64 ○ 66 ○ 67 ○ 121 ×		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		モジュレーション ボリューム エクスプレッション ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル  リセットオール コントローラー ※1	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0~22 *****		○ 0~48 0~48			
エクスクルーシブ	○		○			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×		× × ×			
リアル クロック タイム コマンド	○ ○		○ ○			
その他 ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ (123~125) ※1 ○ ×			
備考	※1 121および123のみオムニ・オフ時またはマルチティンバーモード・オン時に受信可能 ※2 ディスクオーケストラコレクション再生時に送信					

モード1 : オムニ・オン、ポリ      モード2 : オムニ・オン、モノ      ○ : あり  
モード3 : オムニ・オフ、ポリ      モード4 : オムニ・オフ、モノ      × : なし

# 6 資料

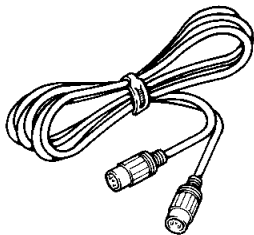
## 1. オプション(別売品)のご紹介

ヘッドホン・HPE-5 ¥5,500

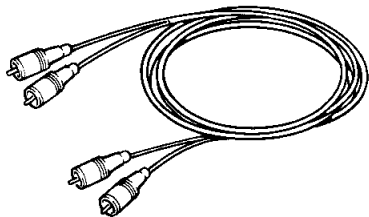


MIDIケーブル・MIDI-15 (15m) ¥3,000

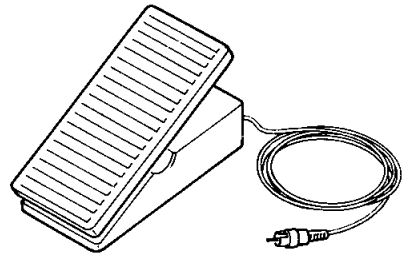
MIDIケーブル・MIDI-03 (3m) ¥1,100



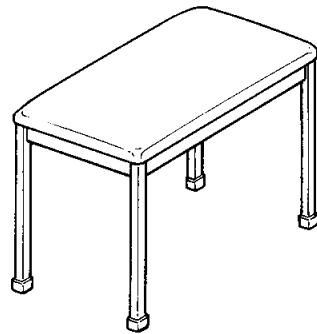
オーディオ接続コード・PSC-3 ¥1,000



エクスプレッションペダル・EP-1 ¥2,400



イス・BC-7 ¥8,000



\*表示の価格には、消費税は含まれていません。

## 2.おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思った時は、この表を見てください。

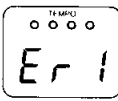
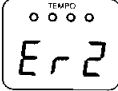
現 象	原 因	解 決 法
パワースイッチをオンまたはオフにした時、“カチ”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから出る音が小さい! 全く音が出ない。	音量が下がっている。	マスターボリューム、マニュアルボリュームを上げてください。
	ヘッドホン端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
	ローカルコントロールオフになっている。	MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、ハープシコード/チェレスタボタンを押してください。
リズムがスタートしない/ リズムの音が出ない。	外部クロックの状態になっている。	MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、サックス/シンセボタンを押してください。
	リズムボリュームが下がっている。	リズムボリュームを上げてください。
	スタートさせていない。	スタートボタン等を押してください。
	シンクrostart待ちの状態になっている。	低音部の鍵盤を押してください。
低音部の音が出ない。	コードボリュームまたはベースボリュームが下がっている。	コードボリュームまたはベースボリュームを上げてください。
	高音部側を弾いている。	スプリットポジションよりも低音部側で弾いてください。
自動伴奏されない。	ピアノABCの状態になっていない。	ピアノABCボタンを押してシングルフィンガーまたはフィンガードの状態にしてください。
	フィンガードの状態で、シングルフィンガーの押え方をしている。	21ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
途中から音階がおかしくなる。	低音部の鍵盤を押している。	シングルフィンガーやフィンガードの状態になっているためですから、そのようになります。
思ったとおりの和音が出ない。	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。	鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください。
	正確に押さえていない。	16ページの“シングルフィンガーコード一覧表” 21ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
ソロスタイルプレイ機能をオンできない。	パフォーマンスメモリーの録音または再生状態になっている。	ソロスタイルプレイ機能とパフォーマンスメモリー機能を同時に使うことはできません。
ローオン機能をオンできない。	ソロスタイル機能をオンしている。 パフォーマンスメモリーの再生状態になっている。	ローオン機能は、ソロスタイル機能やパフォーマンスメモリー機能を同時に使うことはできません。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない	同時に鳴らせる音数には制限があります。	制限数以上の音は、前の音を消して後の音を鳴らすしくみとなっています。
選んでいない音色で鳴る。	ピアノABC機能またはローオン機能をオンしている。	低音部の音色は高音部の音色と異なります。
左側のペダルを踏んでも、ソフト効果がかからない。	別の機能になっている。	レフトペダルファンクションボタンを押して、ソフトのランプを点灯させてください。
記憶させておいたデータが消えている。	記憶されている期間は、電源を切ってから1週間程度です。	記憶させておく場合は、最低1週間おきに30分以上電源を入れるようにしてください。
60ソングまで録音できない。	1曲の演奏時間が長かったり、たくさんの機能を使った場合は、60ソング以内でも記憶容量(約688kバイト)を超えてしまい、録音できなくなる。	新しいディスクに録音してください。
ディスクオーケストラコレクションを再生している時、オーケストラ、ライト、レフトのパートが聞こえない。	各パートがオフになっている。(ボタンのランプが消えている。)	オーケストラオン、ライトオン、またはレフトオンのボタンを押してランプを点灯させればオンになります。
ディスクオーケストラコレクションを再生している時、ガイドランプが点灯しない。	ランプキャンセルがオンになっている。 (ボタンのランプが点灯している。)	ランプキャンセルボタンを押してランプを消灯させ、オフの状態にしてください。

## 3.仕様

- 鍵盤：88鍵(A<sub>1</sub>~C<sub>7</sub>)イニシャルタッチ付
- 音色(23種類)：ピアノ1・2、エレクトリックピアノ1・2、ハープシコード、チェレスタ、パイプ、マリンバ、ギター、ジャズギター、クワイア、ストリングス、ウッド、ブラス、サクソ、シンセ、パイプオルガン、ジャズオルガン、アップライトベース、シンセベース、エレクトリックベース1・2、ドラムス  
ドラムス(打楽器音44種)：バスドラム(ノーマル、ライト)、スネアドラム(ヘヴィ、ライト、エコー)、リムショット、スネアドラム+リム(ヘヴィ、ライト)、ブラッシュ(ロール、ショット)、ハイハット(ペダル、クローズヘヴィ、クローズ、オープン)、タム1~4(ノーマル)、シンセタム1~3、ライドシンバル(ノーマル、カップ)、クラッシュシンバル(ノーマル、ライト)、コンガ(ロー、ハイ)、カバサ、ボンゴ(ロー、ハイ)、クラベス、カスタネット、カウベル、ティンバル(ロー、ハイ)、クイーカ(ロー、ハイ)、ハンドクラップス、アゴゴ(ロー、ハイ)、タンバリン、トライアングル(クローズ、オープン)、メトロノーム  
コントロール；マニュアルボリューム
- 効果：リバーブ、ブリリアンス、トランスポージャー、ピッチコントロール、ソフト、ソステヌート、ダンパー
- リズム(32種類×バリエーション)：ポップス1~4、ロックンロール、スローロック、ディスコ1・2、16ビート1・2、カントリー1・2、シャッフル1・2、スウィング1~3、ジャズワルツ、ブギー、ラグタイム、ボサノバ、チャチャ、サンバ、ルンバ、タンゴ、レゲエ、サルサ、ラテンポップ、マーチ、クラシック、ワルツ、メトロノーム  
コントロール；スタート/ストップ、シンクロススタート、イントロ/エンディング、フィルイン1・2、ブレイク、バリエーション、テンポコントロール、拍子ランプ、テンポ/小節数表示器、リズムボリューム
- ピアノABC：シングルフィンガー、フィンガード、スプリットポジション、コード音色、ベース音色  
コントロール；コードボリューム、ベースボリューム
- ロワーオン：ロワー音色  
コントロール；ロワーオン、ロワーボリューム(マニュアルボリューム)
- パフォーマンスメモリー：10トラック録音/再生(3-10トラックは同時再生)  
記憶容量：約688kバイト、最大60曲  
記録媒体：3.5インチ 2DD マイクロフロッピーディスク  
コントロール；レコード(1、2、3-10)、プレイバック(1、2、3-10)
- ソロスタイルプレイ：ポップオーケストラ、ジャズカルテット、カクテルピアノ、カントリーピアノ、ロックバンド
- レジストレーション：コントロール；1~5、メモリー
- レフトペダルファンクション：ソフト/ソステヌート/スタート・ストップ/イントロ・エンディング/フィルイン/ソロスタイルプレイ
- ディスクオーケストラ：コントロール；ソングセレクト、フレーズリピート、ランプキャンセル、オーケストラオン、レフトオン、ライトオン、レフトガイド、ライトガイド
- ディスクコントロール：コントロール；コピー、フォーマット
- その他コントロール：パワースイッチ、マスターボリューム、MIDI/トランスポーズ
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子(IN L、IN R、OUT L、OUT R)、AUX出力端子(OUT L、OUT R)、エクスプレッションペダル端子、MIDI端子(IN、OUT、THRU)
- メインアンプ：60W(30W×2)
- スピーカー：13cm×2、5cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：65W
- 外装：仕上げ；ブラックメタリック(スタンド：ブラックローズウッド調仕上げ)、間口；141.5cm、奥行；56.2cm、高さ；79.5cm  
重量；59kg
- 装備：スライド式キーカバー、折りたたみ式譜面立て
- 付属品：3.5インチ 2DD マイクロフロッピーディスク×1  
ディスクオーケストラコレクション×1  
ディスクオーケストラコレクション用楽譜×1

## 4. エラーメッセージ一覧表

パフォーマンスメモリー機能やディスクオーケストラで不適当な操作を行おうとした場合などに、テンポ/小節数表示器にエラーメッセージが表示されます。この表示が出た時には、原因を確認した上で処置を施してください。

表 示	原 因	処 置
	1. ディスクの不良 2. ディスク作動時に大きな振動があった。	1. ディスクを交換してください。 2. ユーズランプが点灯している時には、振動を与えないようにしてください。
	ディスクが録音不可の状態になっている。	ディスクのツメを動かして録音できる状態にしてください。

## 5. 発音数一覧表

各モードにおける同時発音数は下表のとおりです。

リズム	ピアノ/ABC	ロワー	パフォーマンスメモリー	同 時 発 音 数
×	×	×	×	演奏音16音
○	×	×	×	リズム8音、演奏音16音
○	○	×	×	リズム8音、和音6音、ベース音2音、高音部8音
×	○	×	×	和音6音、ベース音2音、高音部8音
×	×	○	×	低音部+高音部合わせて16音
○	×	○	×	リズム8音 低音部+高音部合わせて16音
○	×	×	○	演奏音+再生音合わせて16音、リズム8音

○：機能オン

×：機能オフ

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

## ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで休間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

## YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-235-0249
東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ㈱宮竹工場内 TEL.0534-65-6711
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター TEL.052-652-2230
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
京都電音サービスステーション	〒600 京都市下京区七条道間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL.075-361-6470
神戸電音サービスステーション	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ㈱神戸店内 TEL.078-321-1195
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ㈱高松店内 TEL.0878-22-3045
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
[本社] 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

\*住所および電話番号は変更になる場合があります

# YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

## ヤマハ株式会社

本社  
楽器営業本部  
電子楽器営業部  
クラビノーバ営業課

〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL.0534(60)3275

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.011(512)6114

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.022(222)6141

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.03(572)3140

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.052(201)5140

大阪支店 / 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.06(252)7541

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.082(244)3748

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.092(472)2152

YAMAHA feelin' club



T4960693007754